

最近の県経済動向

Fukushima Economic Performance Monthly

平成24年1月23日

目次

| | |
|-------------------------------|-------|
| 1 本県の経済概況 | 1～2 |
| 2 主な指標の動き | 3 |
| (1) 個人消費 | 3～4 |
| (2) 建設需要 | 5～7 |
| (3) 生産活動 | 8～10 |
| (4) 雇用・労働 | 11～13 |
| (5) 物価 | 14 |
| (6) 企業・金融 | 15～16 |
| (7) 市場 | 17 |
| (8) 中小企業の業況 | 18 |
| 3 主要経済指標 | 19～24 |
| 4 参考 | 25 |
| 1 中小企業経営動向調査((公財)福島県産業振興センター) | 25～26 |
| 2 中小企業景況レポート(福島県中小企業団体中央会) | 27～29 |
| 3 景気動向指数(福島県) | 30 |
| 4 福島県金融経済概況(日本銀行福島支店) | 31 |
| 5 月例経済報告(内閣府) | 31 |
| 6 「最近の県経済動向」総合判断(福島県) | 31 |

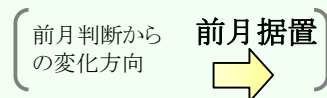
福島県 企画調整部 統計分析課



1 本県の経済概況

◆ 総合判断

県内の景気は、厳しい状況にあるものの、生産活動や個人消費などに持ち直しの動きがみられる。



個別判断

◆ 概要

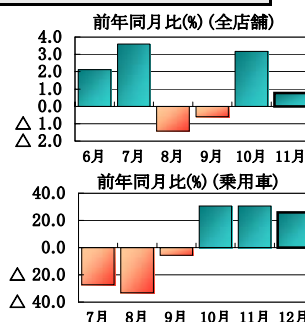
(1) 個人消費 【 → 】 ◆ 持ち直しの動きがみられる。

◆ 大型小売店販売額 (11月)

全店舗ベースで総額182億円、対前年同月比0.8%増(既存店前年同月比4.1%増)となり、2か月連続で前年を上回っている。

◆ 乗用車新規登録台数 (12月)

新規登録台数は4,395台、対前年同月比25.9%増となり、3か月連続で前年を上回っている。



(2) 建設需要 【 → 】 ◆ 公共工事は前年を上回っている。民間需要は業務用建築物では前年を上回り、新設住宅では前年を下回っている。

◆ 新設住宅着工戸数 (11月)

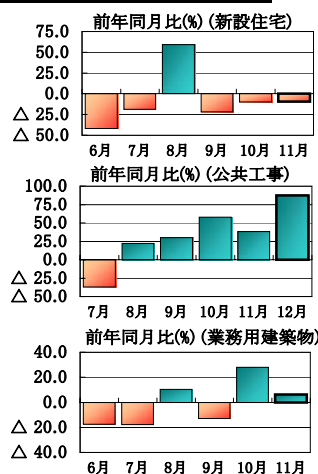
新設住宅着工戸数は873戸、対前年同月比9.8%減となり、3か月連続で前年を下回っている。

◆ 公共工事請負金額 (12月)

工事請負金額は総額約242億円、対前年同月比87.5%増となり、5か月連続で前年を上回っている。

◆ 業務用建築物着工棟数 (11月)

業務用建築物着工棟数は187棟、対前年同月比6.3%増となり、2か月連続で前年を上回っている。



(3) 生産活動 【 → 】 ◆ 低水準ながら、持ち直しの動きがみられる。

◆ 鉱工業指数 (11月)

鉱工業生産指数は85.5(原指数・速報値)、対前年同月比10.8%減となり、9か月連続で前年を下回っている。

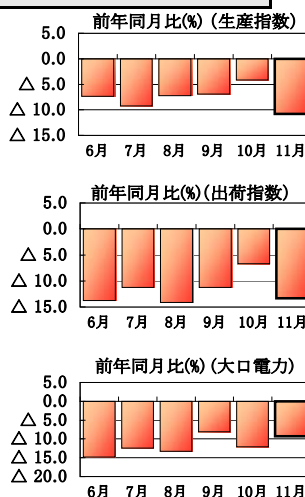
なお、季節調整済指数は80.8(速報値)、対前月比5.9%減となり、2か月振りに前月を下回っている。

鉱工業出荷指数は86.6(原指数・速報値)、対前年同月比13.4%減となり、9か月連続で前年を下回っている。

鉱工業在庫指数は117.2(原指数・速報値)、対前年同月比6.4%増となり、4か月連続で前年を上回っている。

◆ 大口電力使用量 (11月)

電力使用量は493,138千kWh、対前年同月比9.4%減となり、9か月連続で前年を下回っている。



(4) 雇用・労働 【 → 】 ◆ 一部に改善の動きがみられるものの、引き続き悪化が懸念される状況にある。

◆ 求人倍率 (11月)

新規求人倍率は1.28倍(季節調整値)、前月より0.11ポイント上昇している。

有効求人倍率は0.71倍(季節調整値)、前月より0.03ポイント上昇している。

なお、有効求人数は平成22年4月以降、前年を上回る動きが続いており、有効求職者数は7か月連続で前年を上回っている。

◆ 雇用保険受給者実人員 (11月)

雇用保険(基本手当基本分)受給者実人員は15,744人、対前年同月比51.5%増となり、8か月連続で前年を上回っている。

なお、雇用保険(個別延長給付)受給者実人員は8,205人、対前年同月比706.0%増となっている。

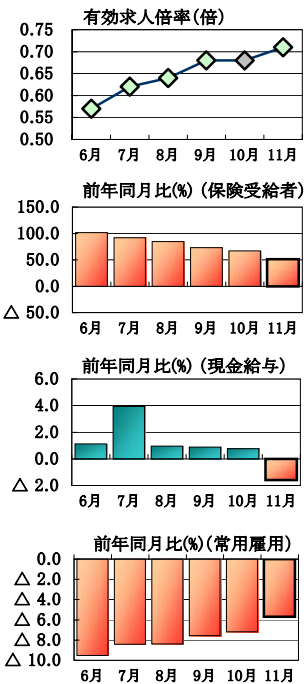
◆ 労働 (11月)

現金給与総額指数は79.3(事業所規模5人以上)、対前年同月比1.6%減となり、6か月振りに前年を下回っている。

なお、事業所規模30人以上は79.2、対前年同月比3.2%減となり、3か月連続で前年を下回っている。

所定外労働時間指数は77.2、対前年同月比16.2%減となり、5か月連続で前年を下回っている。

常用雇用指数は95.2、対前年同月比5.7%減となっている。



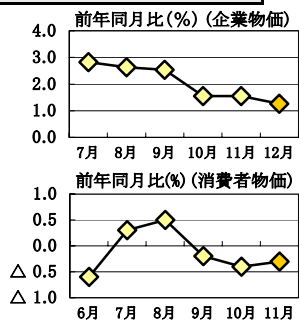
(5) 物価 【 → 】 ◆ 企業物価指数は前年を上回り、消費者物価指数は前年を下回っている。

◆ 国内企業物価指数 (12月)

物価指数は104.7(速報値)、対前年同月比1.3%増となり、15か月連続で前年を上回っている。なお、対前月比は0.1%増となっている。

◆ 福島市消費者物価指数 (11月)

物価指数は99.5、対前年同月比0.3%減となり、3か月連続で前年を下回っている。なお、前月と同値となっている。



(6) 企業・金融 【 → 】 ◆ 企業倒産は震災により増加が懸念される状況にある。金融預金残高、貸出残高ともに、前年を上回っている。

◆ 企業倒産 (12月)

倒産件数は4件、対前年同月比33.3%減となり、4か月連続で前年を下回っている。

負債総額は5億5,300万円、対前年同月比90.0%減となり、2か月連続で前年を下回っている。

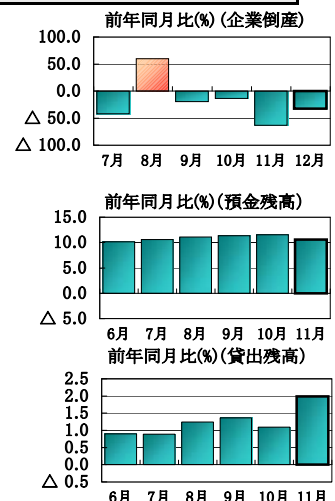
◆ 金融機関預貸残高 (11月)

預金残高は7兆2,641億円、対前年同月比10.6%増となり、平成19年3月以降、前年を上回る動きが続いている。

貸出残高は3兆8,840億円、対前年同月比2.0%増となり、7か月連続で前年を上回っている。

◆ 貸出約定平均金利 (11月)

平均金利は1.573%となり、前月より0.021ポイント低下し、12か月連続で前月を下回っている。



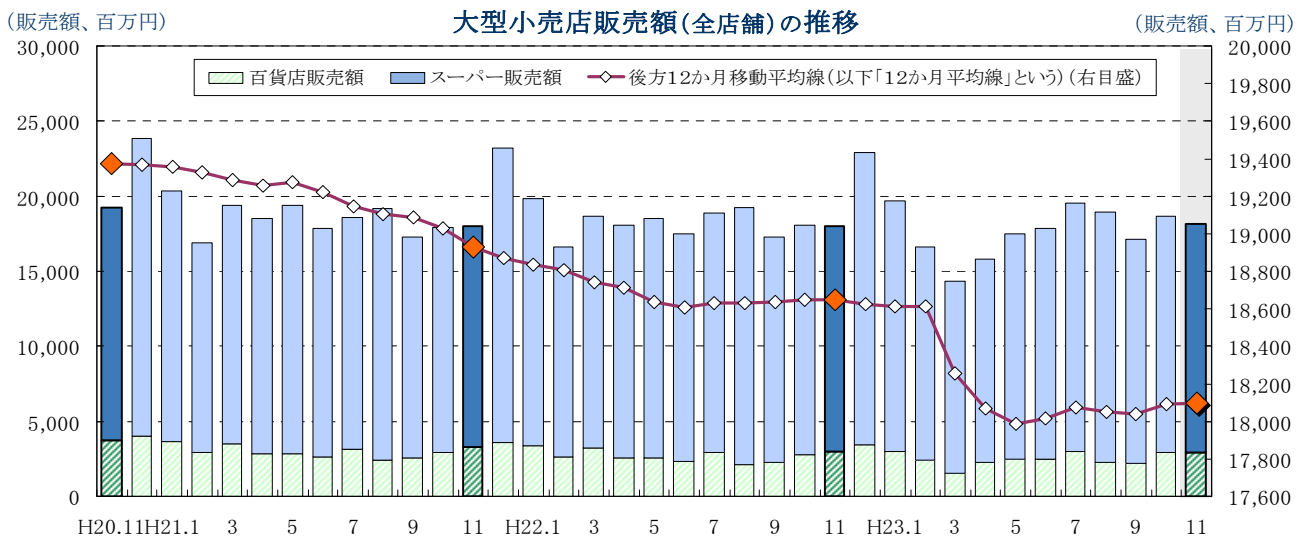
※備考1 指標名の色について、前年と比較(求人倍率については、前月と比較)して、改善している指標は緑字、悪化している指標は赤字、同水準である、または個別には判断のつかない指標は灰色で表しています。

2 主な指標の動き

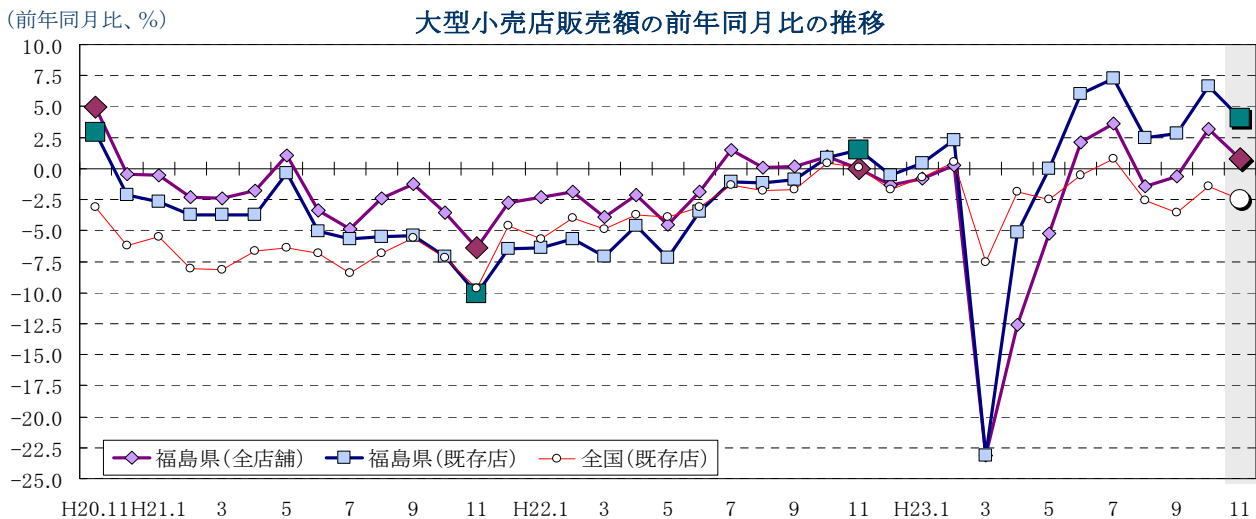
(1) 個人消費

◆ **大型小売店販売額(11月)**は全店舗ベースで**総額182億円**、対前年同月比**0.8%**増となり、**2か月連続**で前年を上回っている。一方、既存店ベースの対前年同月比は**4.1%**増となり、**6か月連続**で前年を上回っている。

内訳をみると、百貨店は全店舗ベースで対前年同月比**2.3%**減、既存店ベースで対前年同月比**2.3%**減となっている。一方、スーパーは全店舗ベースで対前年同月比**1.4%**増、既存店ベースで対前年同月比**5.5%**増となっている。



(資料 東北経済産業局)



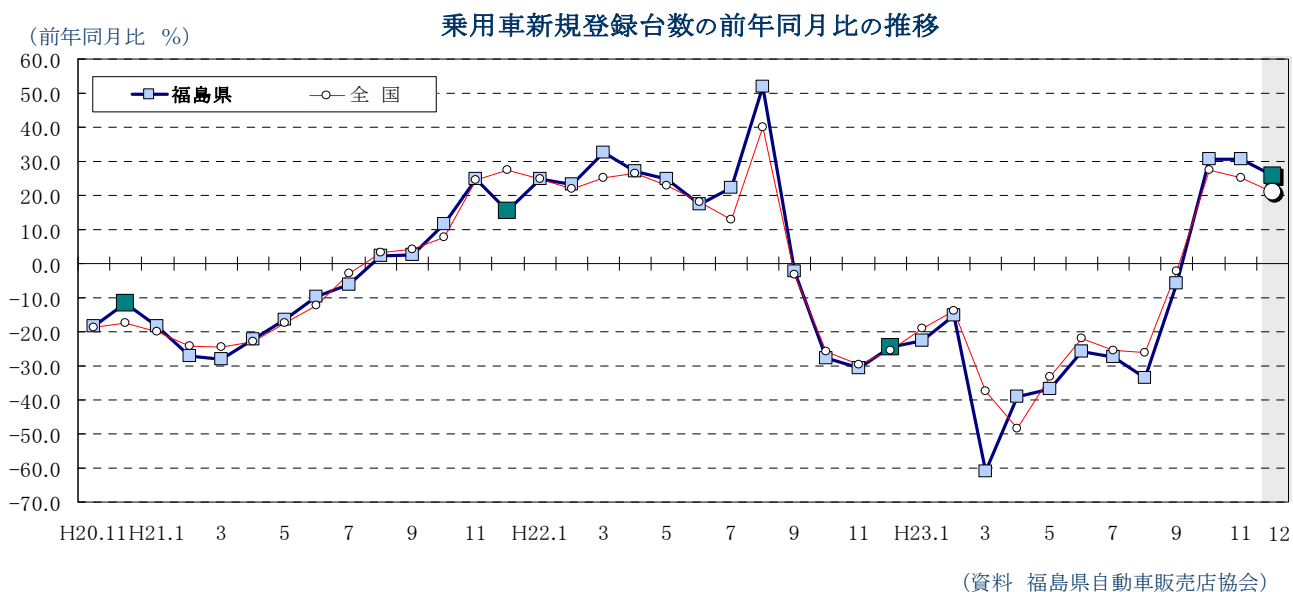
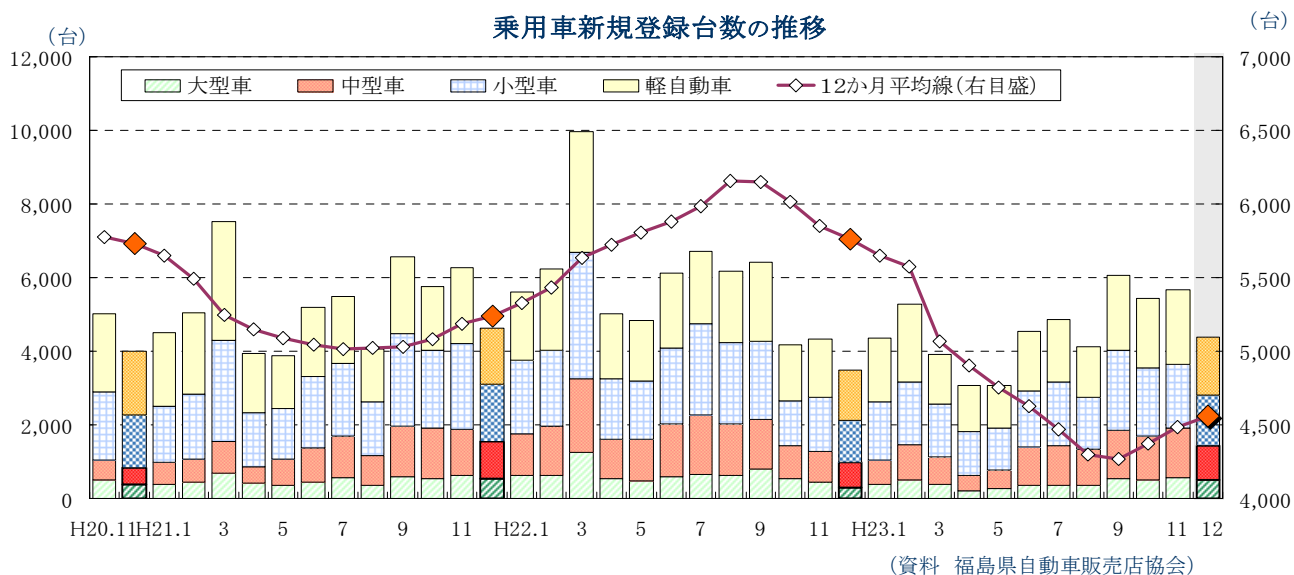
(資料 東北経済産業局)

【大型小売店販売額】

調査対象となる百貨店3店とスーパー80店(11月末現在)の総販売金額です。既存店ベースの前年同月比とは、前年同月も調査の対象であった店舗のみを比較するものです。過去1年間に開・廃業した店舗の販売額は除かれているので、前年と同一条件で消費動向をみることができます。

◆ 乗用車新規登録台数(12月)は4,395台、対前年同月比25.9%増となり、3か月連続で前年を上回っている。

内訳をみると、大型車、中型車、小型車、軽自動車の全ての車種で前年を上回っている。

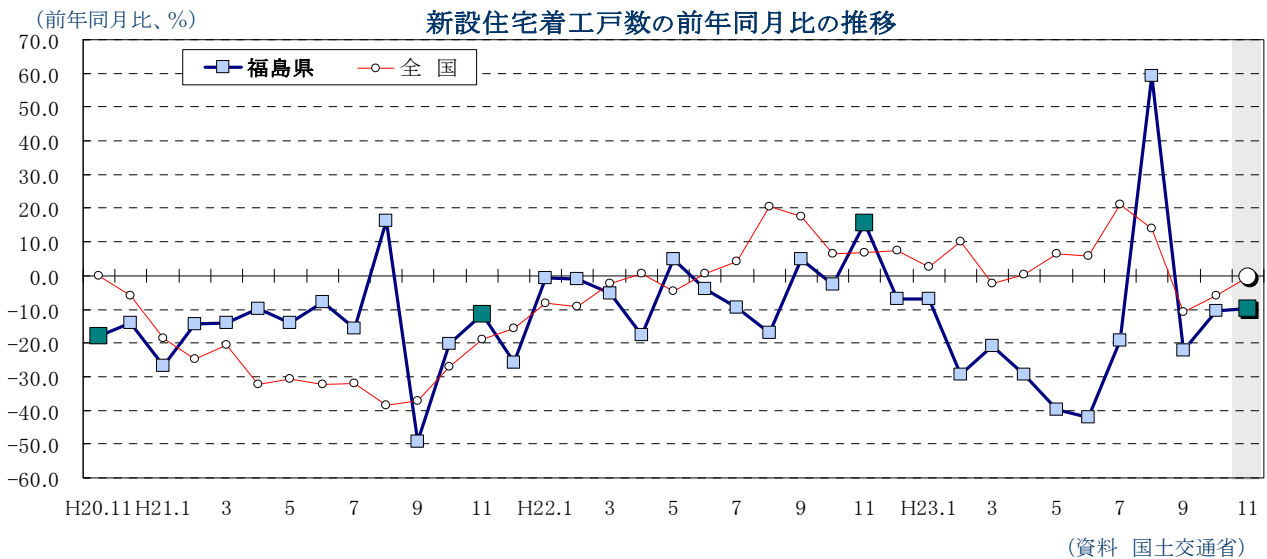
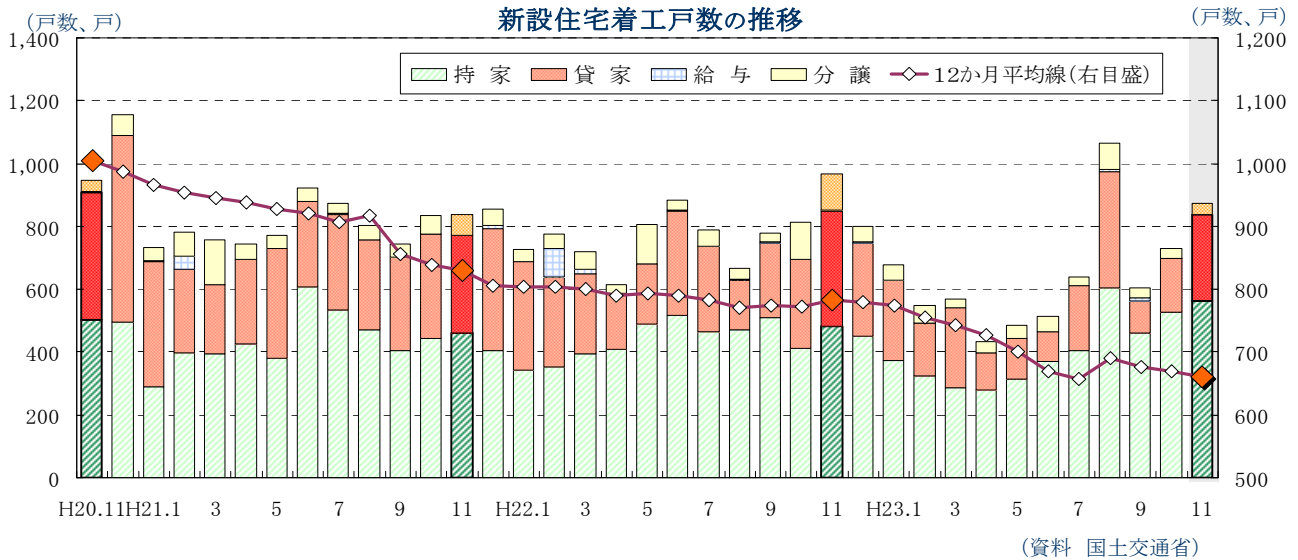


【乗用車新規登録台数】

乗用車の購入により、運輸支局及び軽自動車検査協会に登録された台数です。耐久消費財の販売動向を消費側からとらえた統計です。自動車を購入した際には必ず登録をするため網羅性があり、速報性もあります。3月や9月の決算期には台数が多くなるなど、顕著な季節性があります。

(2) 建設需要

◆ 新設住宅着工戸数(11月)は873戸、対前年同月比9.8%減となり、3か月連続で前年を下回っている。

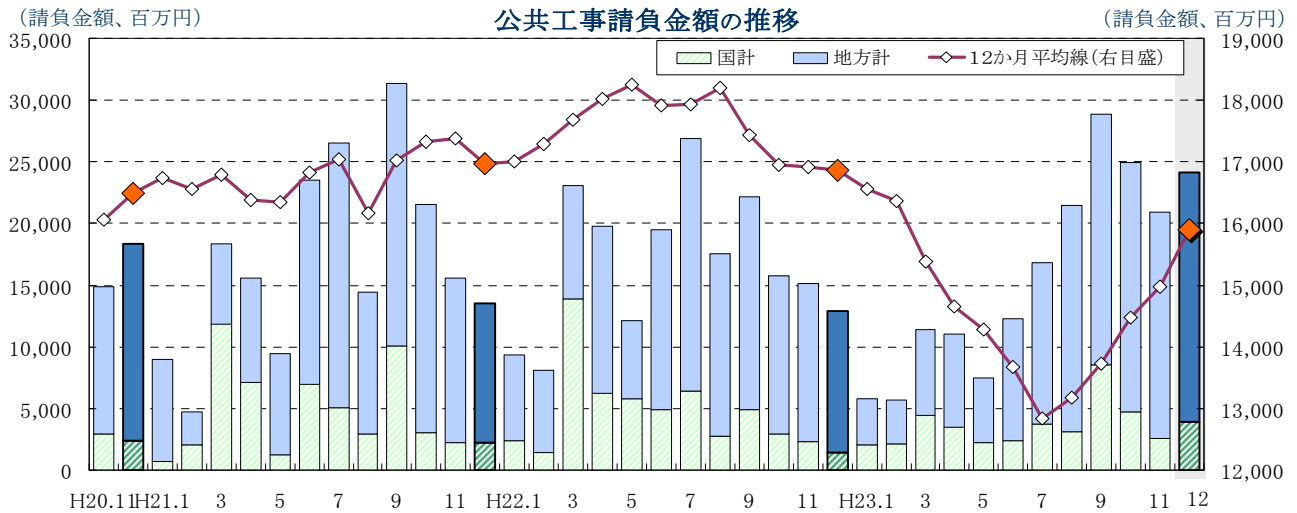


【新設住宅着工戸数】

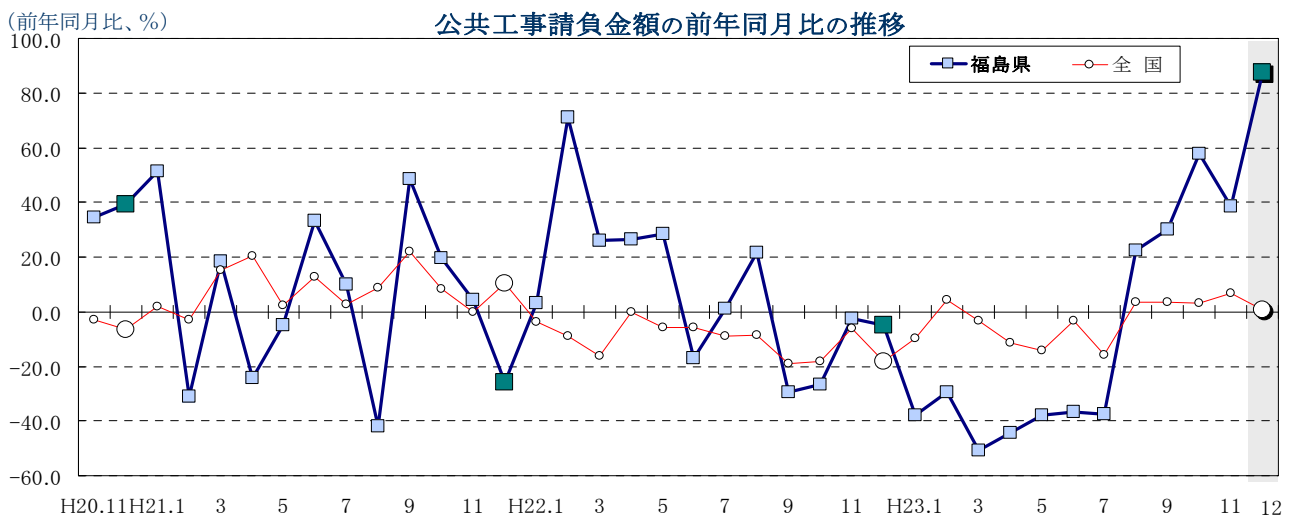
家やマンションを建てる時に、建築主から都道府県知事にその旨を届けた戸数を集計したもので、住宅投資の動きを示す代表的な指標です。進捗ベースではなく、着工ベースの指標のため速報性があります。所得・地価・建築費・金利などに敏感に反応して動きます。また、政府の景気対策で「住宅ローン減税」のような政策の影響も受けます。

◆ 公共工事請負金額(12月)は総額約242億円、対前年同月比87.5%増となり、5か月連続で前年を上回っている。

内訳をみると、国の機関、地方の機関ともに、5か月連続で前年を上回っている。



(資料 東日本建設業保証株式会社)

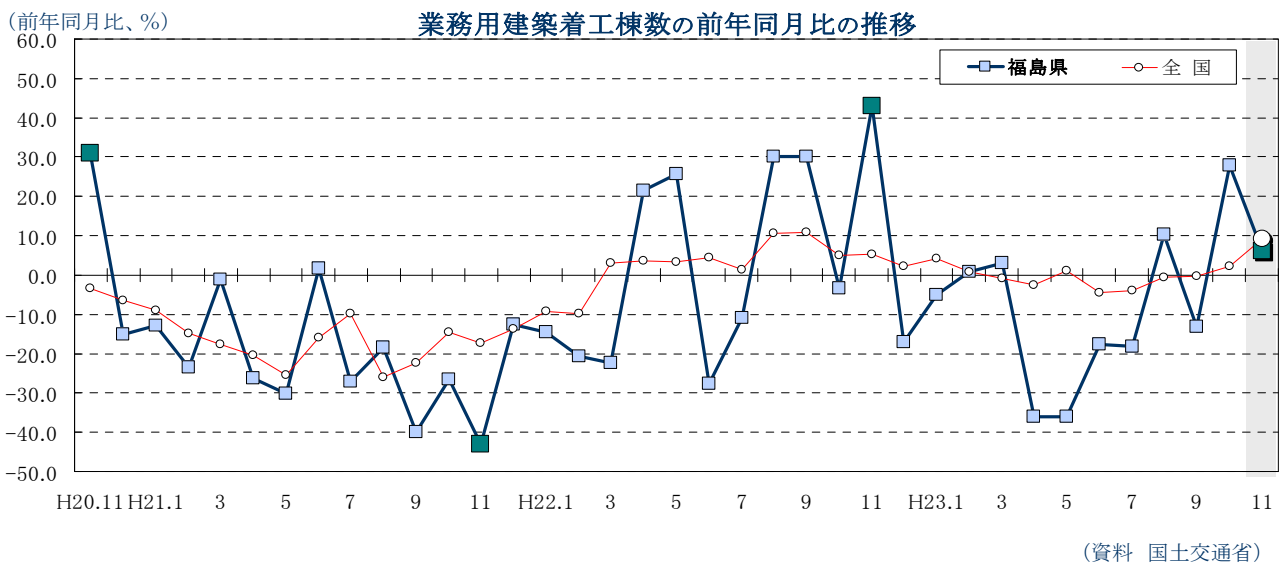
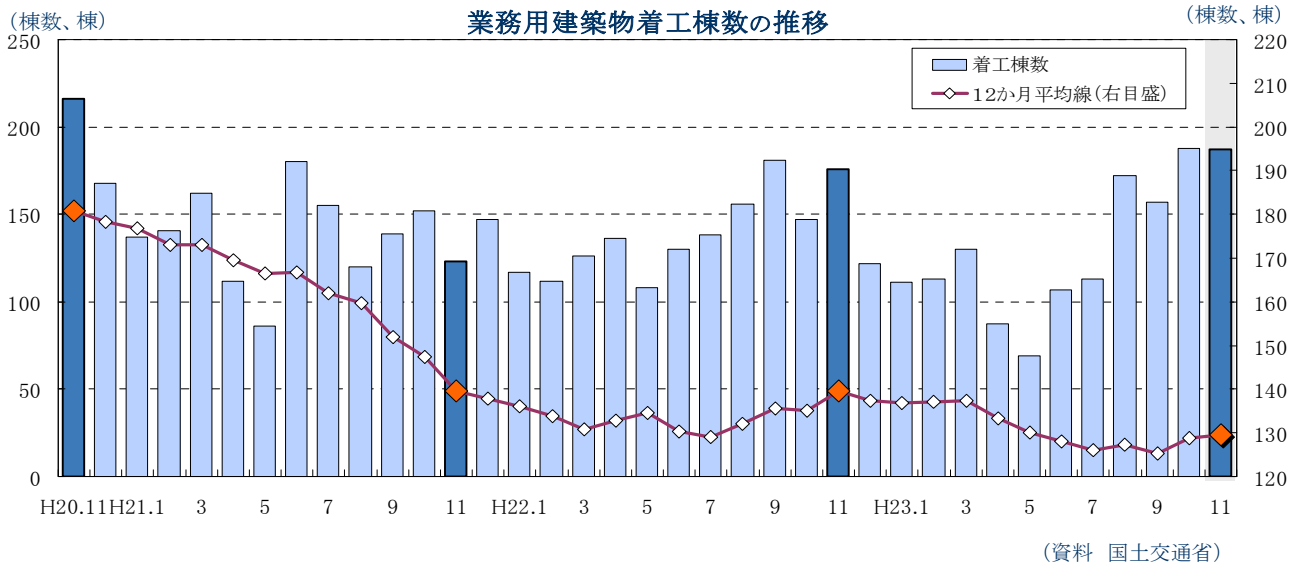


(資料 東日本建設業保証株式会社)

【公共工事請負額】

国、地方公共団体、独立行政法人等が発注した公共工事のうち、保証事業会社の保証による公共工事について、保証事業会社が請負金額を取りまとめて集計したもので、発注者ごとに分かります。

◆ 業務用建築物着工棟数(11月)は187棟、対前年同月比6.3%増となり、2か月連続で前年を上回っている。



【業務用建築物着工棟数】

建築主が建築物を建築しようとする場合は、その旨を都道府県知事に届けなければならない、この届出をもとに集計したものが建築物着工統計です。進捗ベースではなく、着工ベースの指標のため速報性があります。「業務用」とは、全建築物から居住専用と居住産業併用を除いたもので、企業の設備投資を反映します。

(3) 生産活動

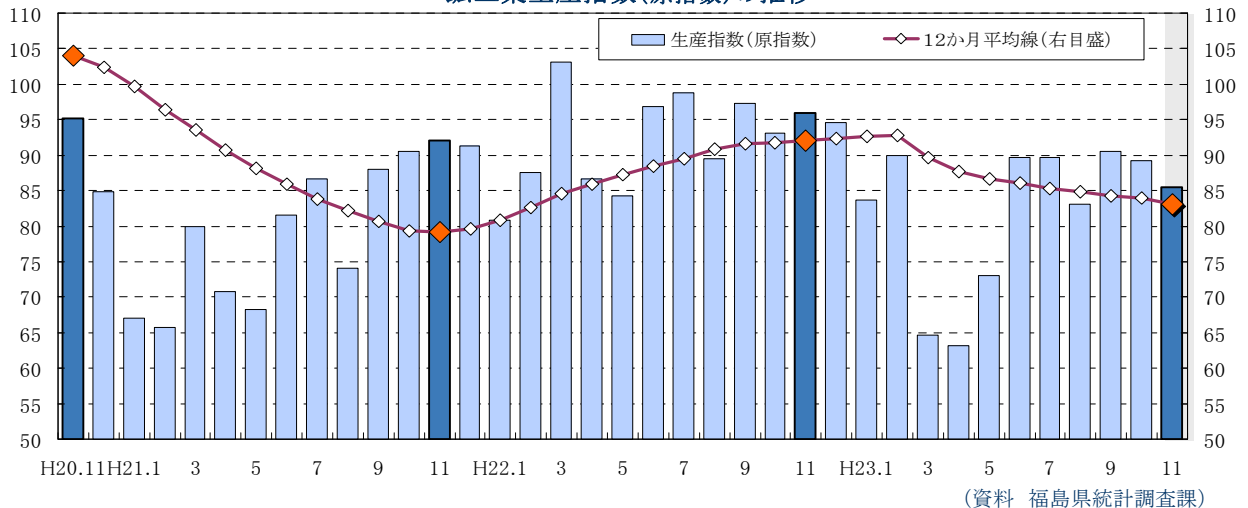
◆ **鉦工業生産指数(11月)**は原指数**85.5**(速報値)、対前年同月比**10.8%減**となり、**9か月連続**で前年を下回っている。季節調整済指数は**80.8**(速報値)、対前月比**5.9%減**となり、**2か月振り**に前月を下回っている。業種別(季節調整済指数)では、情報通信機械工業、精密機械工業、電気機械工業などで前月を下回っている。

◆ **鉦工業出荷指数(11月)**は原指数**86.6**(速報値)、対前年同月比**13.4%減**となり、**9か月連続**で前年を下回っている。季節調整済指数は**83.2**(速報値)、対前月比**6.0%減**となり、**3か月振り**に前月を下回っている。

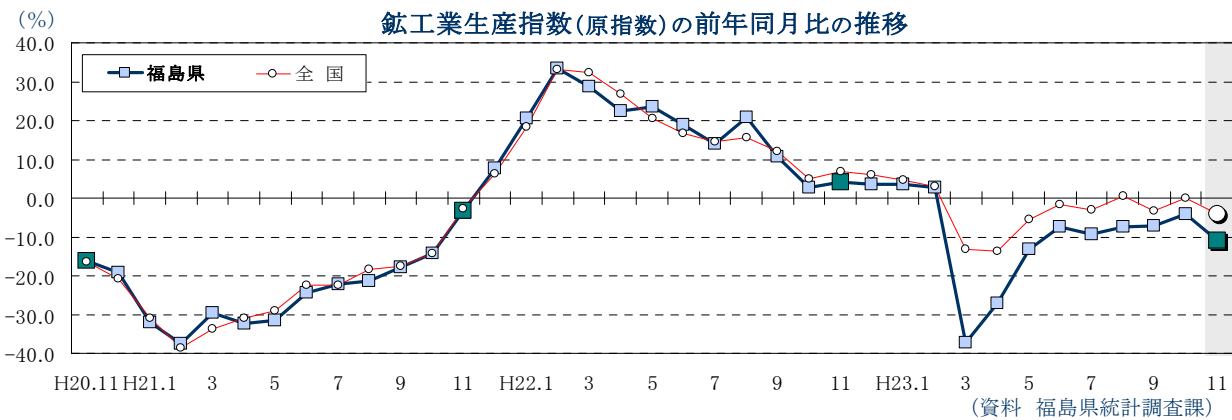
◆ **鉦工業在庫指数(11月)**は原指数**117.2**(速報値)、対前年同月比**6.4%増**となり、**4か月連続**で前年を上回っている。季節調整済指数は**119.6**(速報値)、対前月比**2.5%増**となり、**2か月連続**で前月を上回っている。

鉦工業生産指数(原指数)の推移

(H17=100)

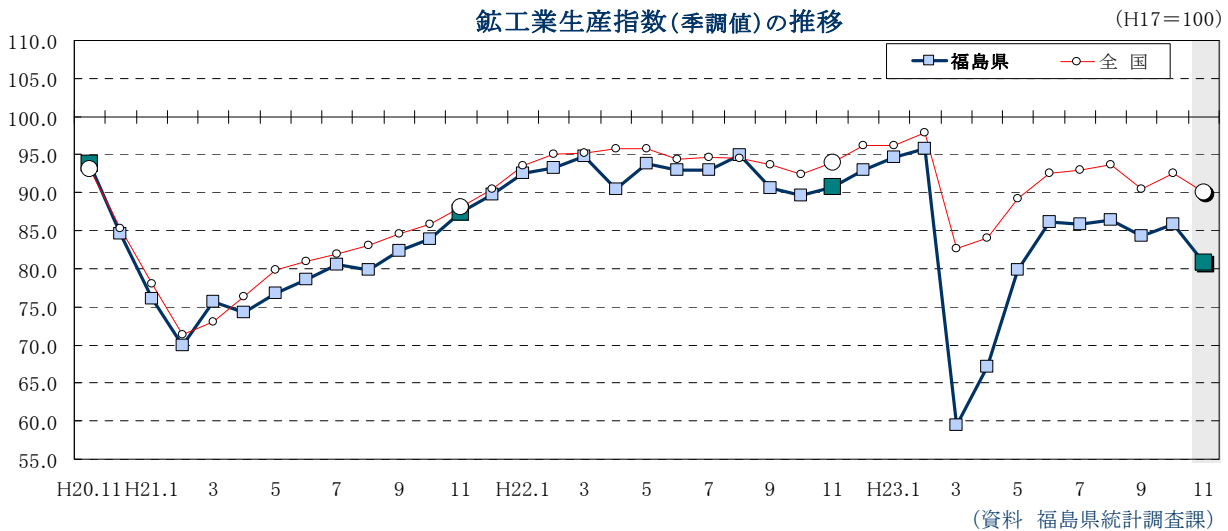


鉦工業生産指数(原指数)の前年同月比の推移



【鉦工業指数】

鉦工業製品の生産量、出荷量、在庫量を基準年を100として(平成17年=100)指数化したものです。好況時にはモノがよく売れ、企業が製品を増産するため生産、出荷とも上昇します。景気が悪化してくるとモノが売れなくなるため出荷の減少、在庫の増加局面を経て生産の減少に至ります。



【原指数と季節調整済指数】

鉱工業指数の原指数は、指数作成用データをそのまま指数化したもので、大型連休や決算期等の季節的要因の影響を受けて、毎年一定の変動を繰り返しています。長期的な動向をみる場合は、主に原指数の前年同月比が使用されます。

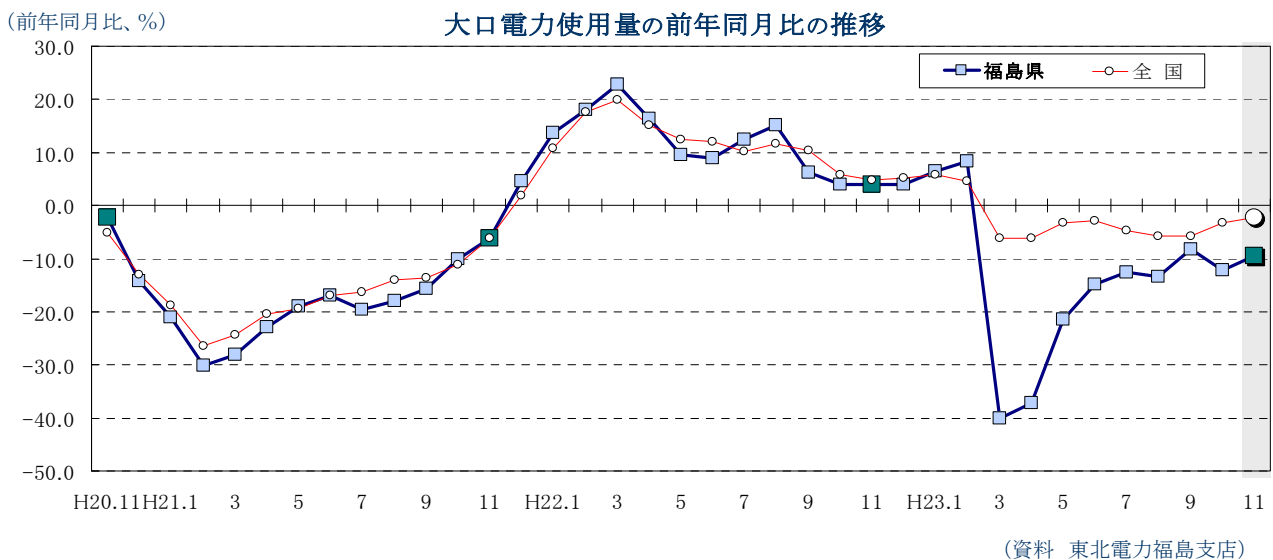
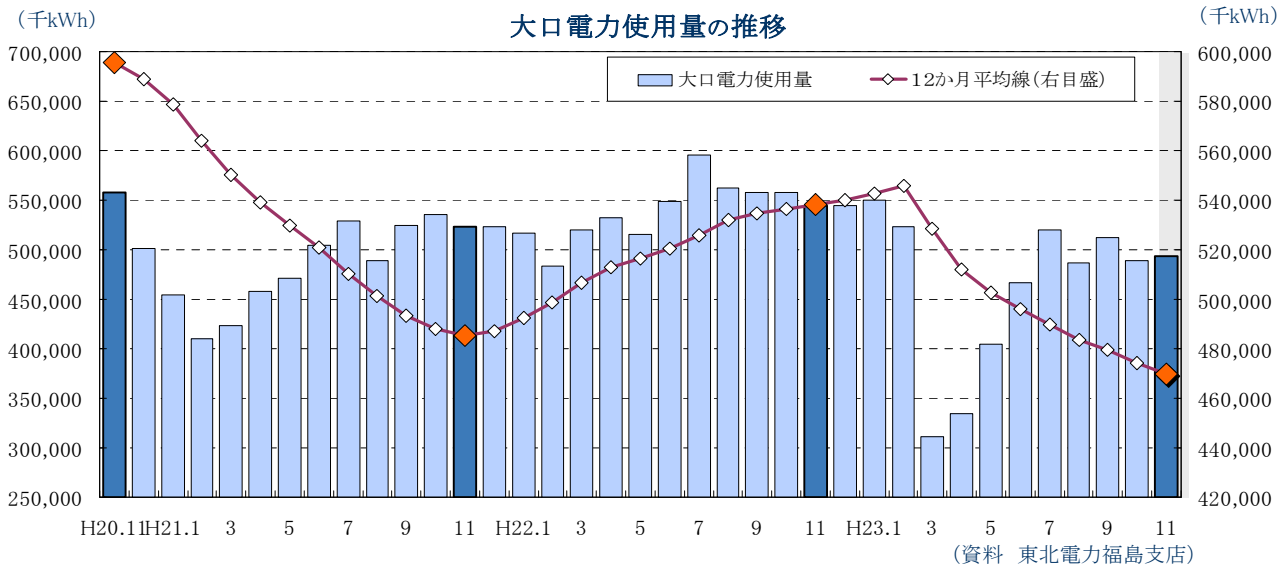
一方、季節調整済指数は、原指数から季節的要因を取り除き、毎月同じ基準で指数の動きがみられるようになっており、直近の動向をみる場合は、主に季節調整済指数の前月比が使用されます。

【前月比と前年同月比】

前年の同じ月と比較した増減を示す「前年同月比」は量的水準の変動を示し、前月と比較した増減を示す「前月比」は直近の変化方向(瞬間風速)を示します。経済統計には季節性を持つものがあり、単純に前月と比較できない場合があるので、季節調整値で前月比を求める場合と、季節性のない統計(例:金利等)では季節調整をかけずに前月比をとる場合があります。

鉱工業指数では原指数の前年同月比で1年前の水準との違いをみて、また、季節調整済指数の前月比で足下の動きをみるというように複合的に利用します。

◆ 大口電力使用量(11月)は493,138千kWh、対前年同月比9.4%減となり、9か月連続で前年を下回っている。



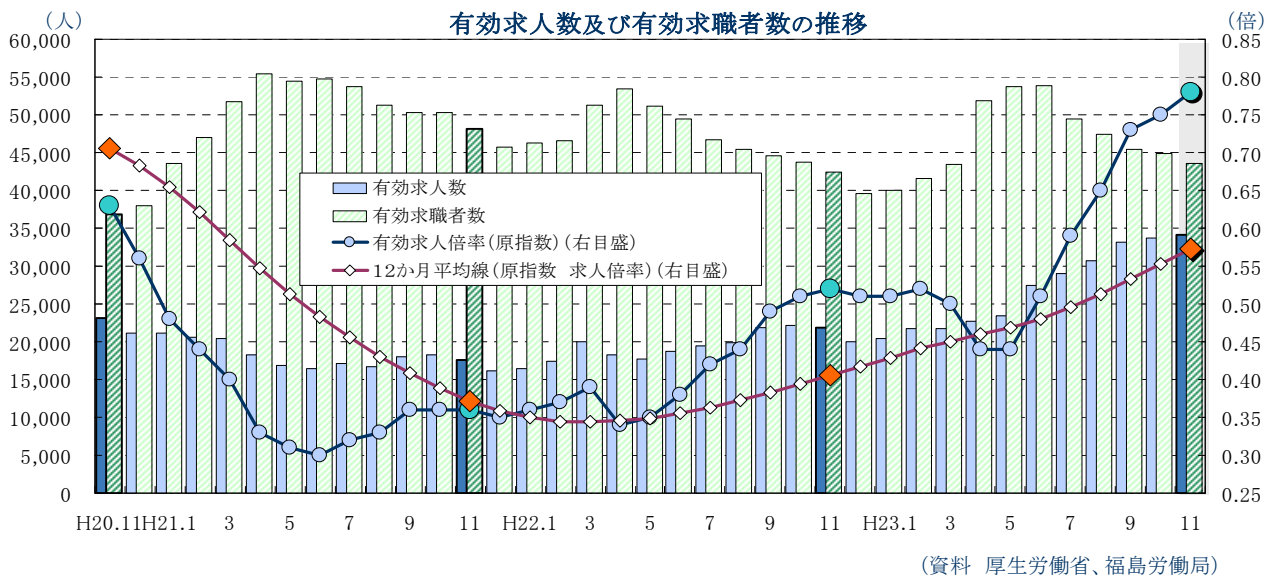
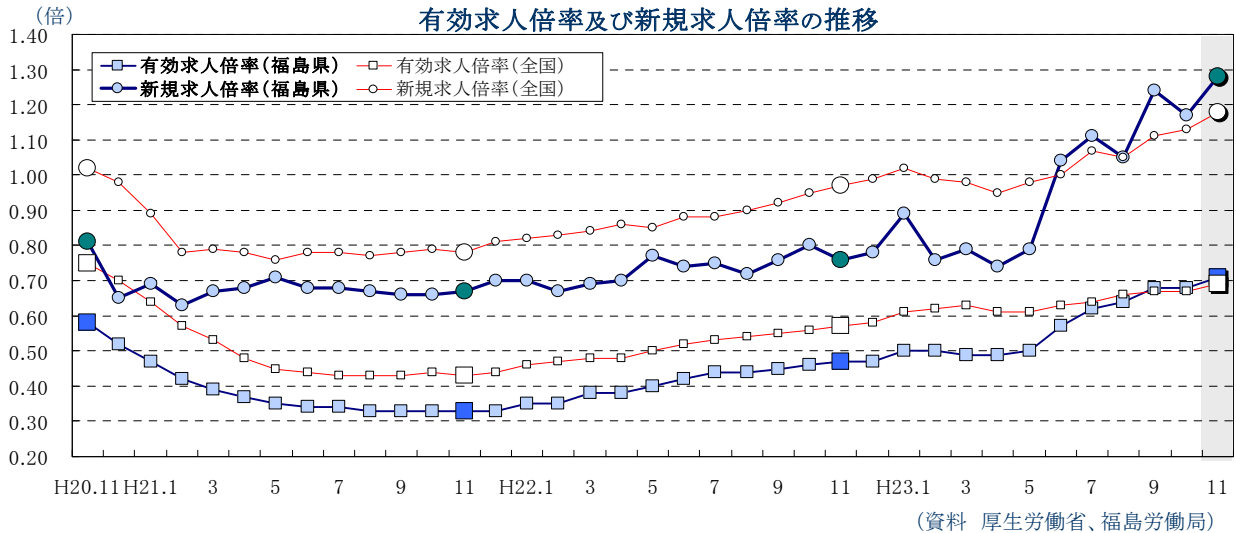
【大口電力使用量】

契約電力500kWh以上の大口の電力需要。産業の生産活動における生産要素の一つであるエネルギー面の投入量を示す指標です。主要産業の経済活動を敏感に反映し、速報性があります。

(4) 雇用・労働

◆ 新規求人倍率(11月)は1.28倍(季節調整値)、前月より0.11ポイント上昇している。

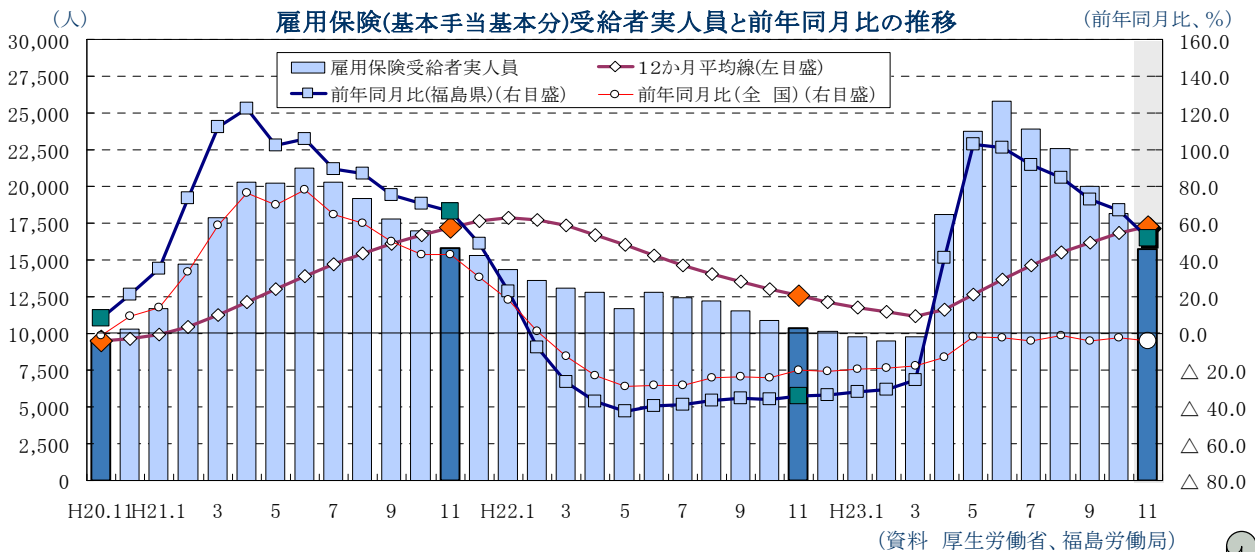
◆ 有効求人倍率(11月)は0.71倍(季節調整値)、前月より0.03ポイント上昇している。
 なお、有効求人数は34,164人(対前年同月比56.1%増)となり、平成22年4月以降、前年を上回る動きが続いている。一方、有効求職者数は43,626人(同2.9%増)となり、7か月連続で前年を上回っている。



【新規求人倍率と有効求人倍率】

「新規求人」とは、当月受け付けた求人を指し、前月から未充足のまま繰り越された求人と新規求人を合わせたものを「有効求人」といいます。同様に、「新規求職」は当月受け付けた求職をいい、「有効求職」は前月から繰り越された求職と新規求職の合計です。有効求人倍率が低いと求職者の割には求人数が少なく雇用情勢が悪化しており、反対に倍率が高いと雇用情勢が良いことを示します。雇用情勢の最新の動きをみるには新規求人倍率をみます。なお、求人倍率は、求人数÷求職者数となりますが、通常公表されている求人倍率は季節調整値のため一致しません。

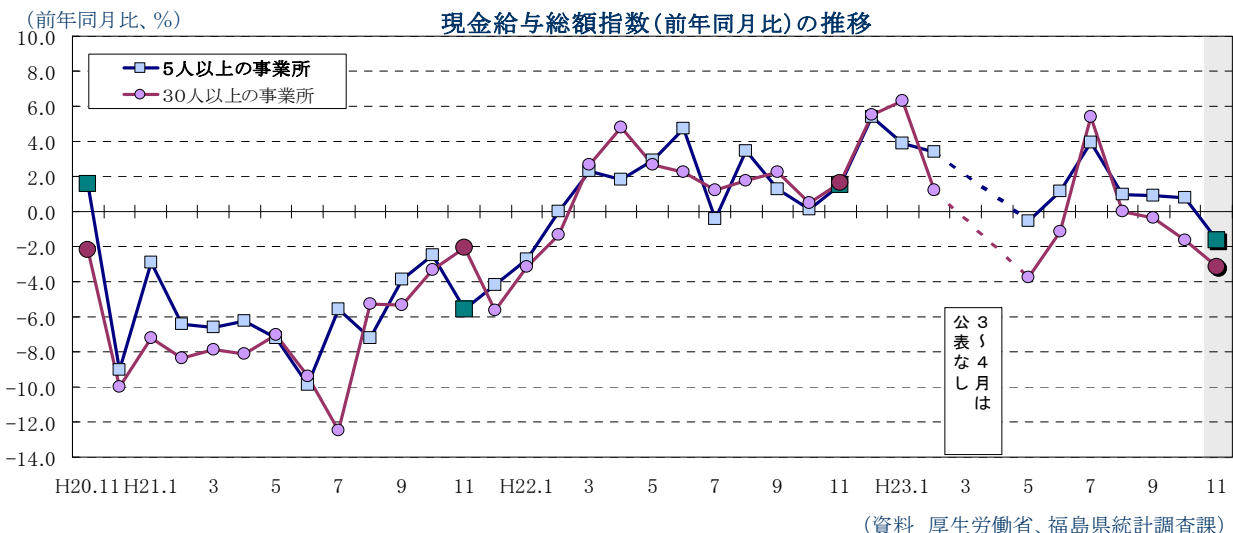
◆ 雇用保険(基本手当基本分)受給者実人員(11月)は15,744人、対前年同月比51.5%増となり、8か月連続で前年を上回っている。なお、雇用保険(個別延長給付)受給者実人員は8,205人、対前年同月比706.0%増となっている。



【雇用保険受給者実人員】

雇用保険の被保険者が離職後、再就職先が見つからないために失業等給付を受け取っている人の数です。失業動向を示すもので、受給者の増加は雇用情勢の悪化を示します。景気の動きと逆に動きます。

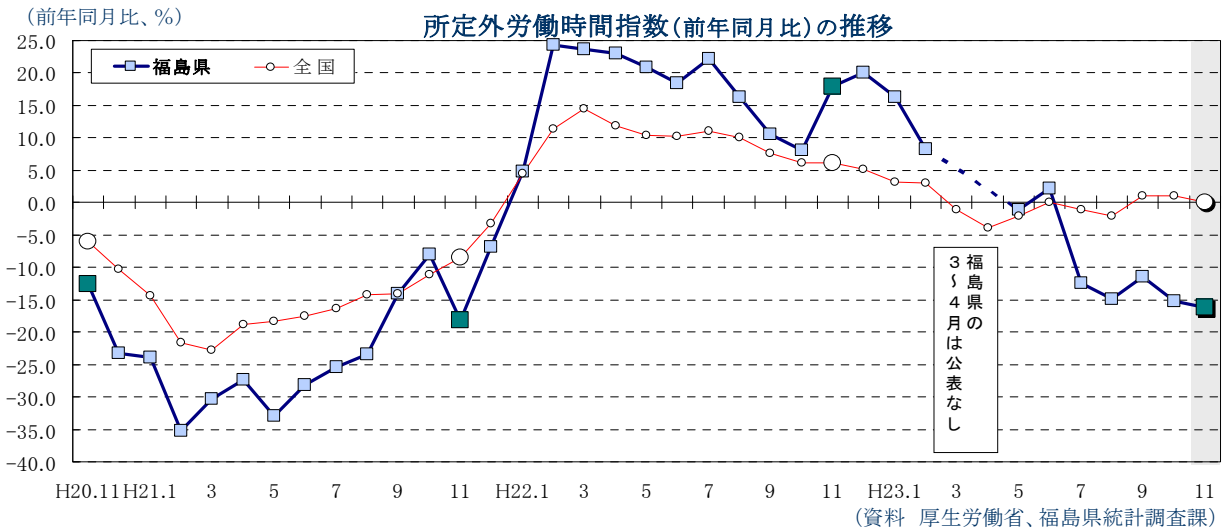
◆ 現金給与総額指数(名目)(11月)は79.3(事業所規模5人以上)、対前年同月比1.6%減となり、6か月振りに前年を下回っている。なお、事業所規模30人以上は79.2、対前年同月比3.2%減となり、3か月連続で前年を下回っている。



【現金給与総額指数】

現金給与総額とは、賃金、給与、手当、賞与など労働の対価として使用者が労働者に支払ったものをすべて合計したもので、所得税、社会保険料等を差し引く前の金額です。これを基準年を100として(現在は平成17年=100)指数化したものです。一般に、賞与のある6、7月や12月は指数が高くなる季節性があるため、前年同月比でみる必要があります。

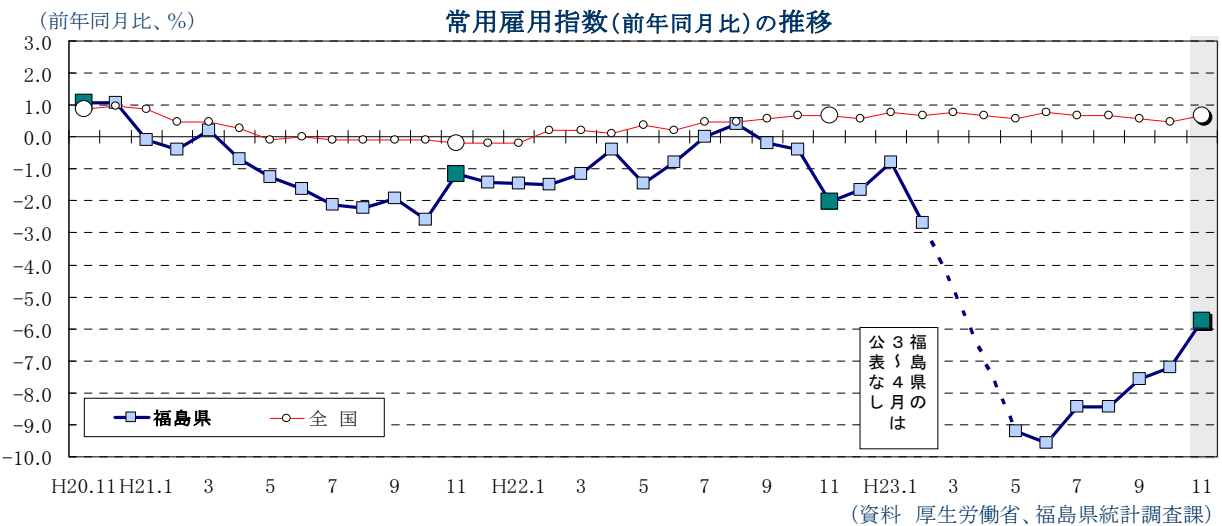
◆ 所定外労働時間指数(11月)は77.2、対前年同月比16.2%減となり、5か月連続で前年を下回っている。



【所定外労働時間指数】

所定外労働時間とは、残業や早出・休日出勤などのことです。これを基準年を100として(現在は平成17年=100)指数化したものです。景気が良くなると、生産活動が活発化し、残業時間の増加で対応することから、景気に敏感に反応します。

◆ 常用雇用指数(11月)は95.2、対前年同月比5.7%減となっている。

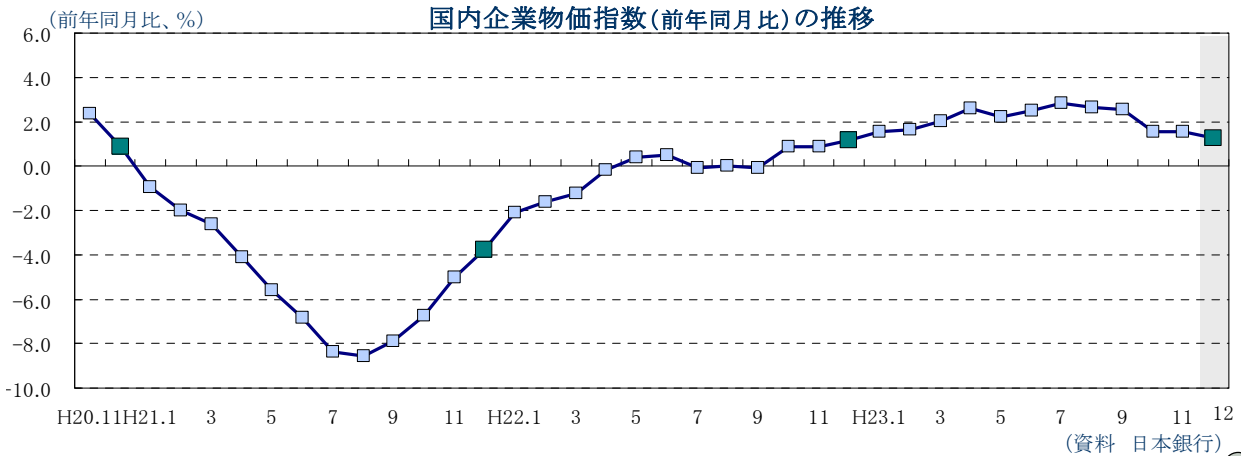


【常用雇用指数】

常用雇用者とは、事業所に雇われている人の数で、一般労働者のほかパートタイム労働者を含みます。これを基準年を100として(現在は平成17年=100)指数化したものです。求人や求職のような希望の数を表すものと違って、実際に雇われている雇用情勢の実態を表します。

(5) 物価

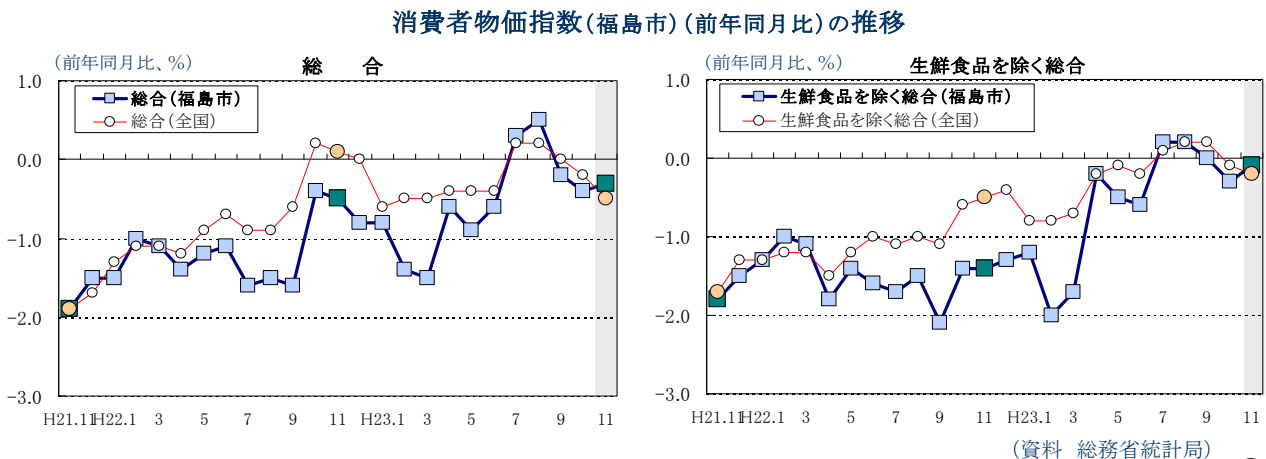
- ◆ 国内企業物価指数(12月)は104.7(速報値)、対前年同月比1.3%増となり、15か月連続で前年を上回っている。
 なお、対前月比は0.1%増となり、5か月振りに前月を上回っている。



【国内企業物価指数】

出荷や卸売り段階での企業間の取引価格の動きを示す指標で、景気動向に敏感に反応します。景気が過熱してモノの需給が引き締まると、企業物価は上昇します。逆に不況期には下落します。日本は原材料を多く輸入に依存しているため、海外市況や為替相場に左右されやすい側面もあります。

- ◆ 福島市消費者物価指数(11月)は99.5、対前年同月比0.3%減となり、3か月連続で前年を下回っている。また、生鮮食品を除く総合でみると99.5となり、0.1%減となっている。
 なお、前月と同値となっている。



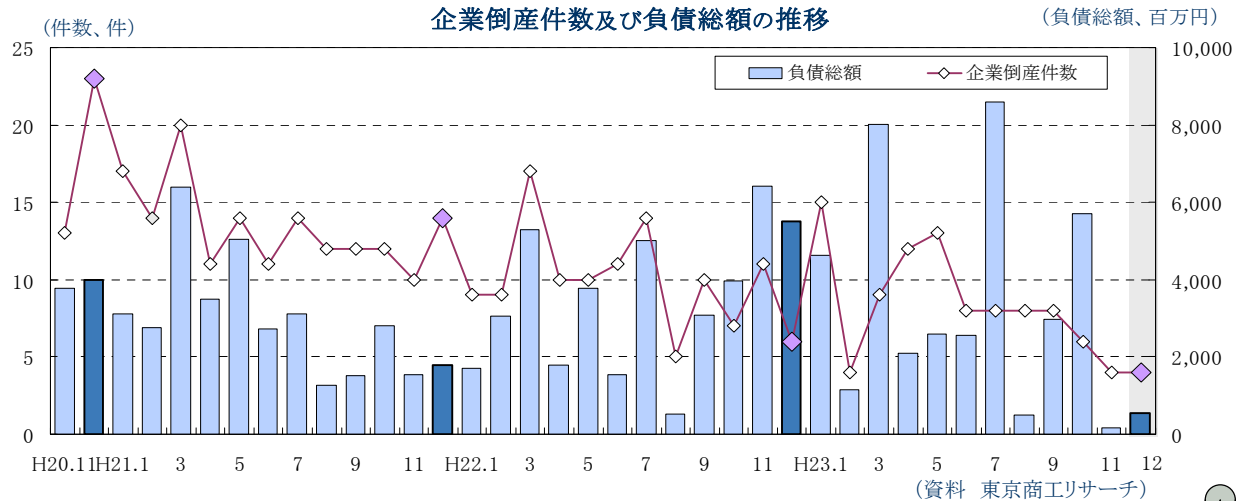
【消費者物価指数】

消費者が平均的に購入する商品やサービスを基準年を100と(平成22年=100)固定して、物価がどのように変化しているかを指数化したものです。また、生鮮食品は天候などの要因によって価格が大幅に変動するため、他の商品やサービスの価格動向を見えにくくなるので「生鮮食品を除く総合」でみることもあります。また、税制や社会保障制度の変更や原油等のエネルギー価格の動向が影響を及ぼすことがあります。

(6) 企業・金融

◆ **企業倒産(12月)**は、件数が**4件**、対前年同月比で**33.3%減**となり、**4か月連続**で前年を下回っている。また、負債総額は**5億5,300万円**、対前年同月比で**90.0%減**となり、**2か月連続**で前年を下回っている。

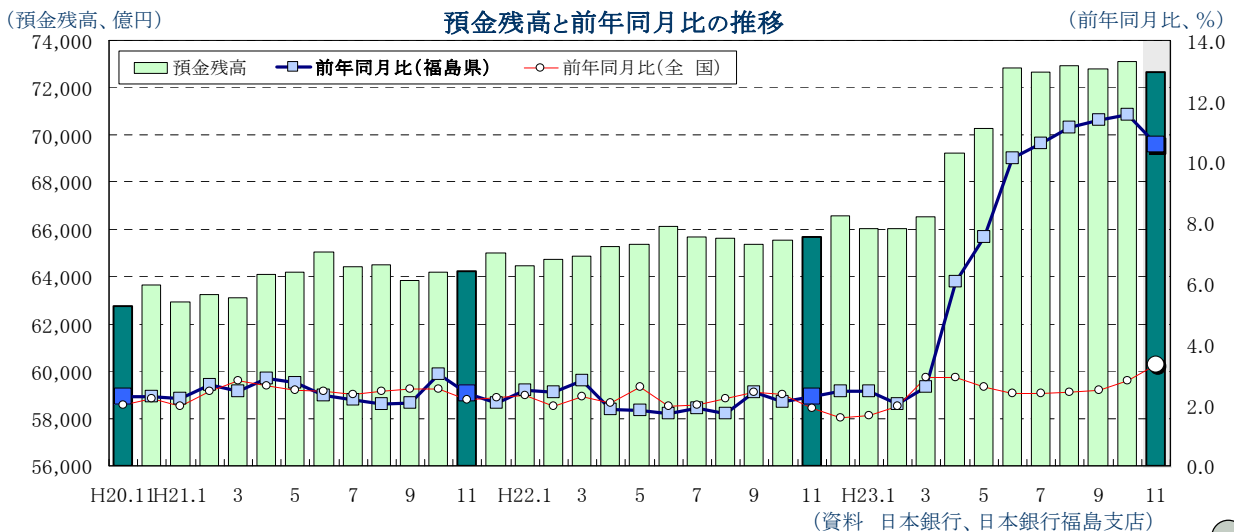
倒産件数を業種別にみると、製造業が2件と最多となっている。



【企業倒産】

法的な定義はなく、官庁統計に集計したものではありません。民間信用調査機関ごとに定義を設けて集計しています。「法的整理(破産や会社更生手続、民事再生手続等)」と「任意整理(銀行取引停止処分、内整理)」の大きく2つに分けることができます。

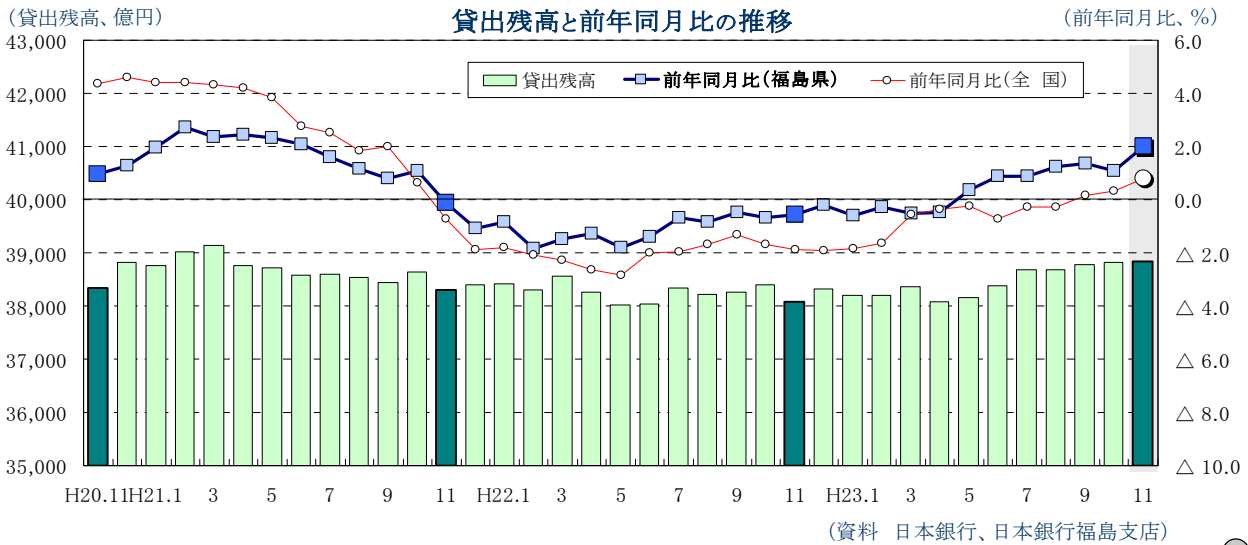
◆ **金融機関預金残高(11月)**は総額**7兆2,641億円**、対前年同月比**10.6%増**となり、平成19年3月以降、前年を上回る動きが続いている。



【預金残高】

預金残高の増減率は金融機関の信用力を示します。経営破綻が相次いで信用不安が起きれば、預金が流出します。具体的な近年の例としては、法人預金は売上げ低迷による余資の減少や、預貸相殺の動きが続くと減少し、個人預金は収入が落ち込むと減少します。増加する理由には逆のことがいえます。

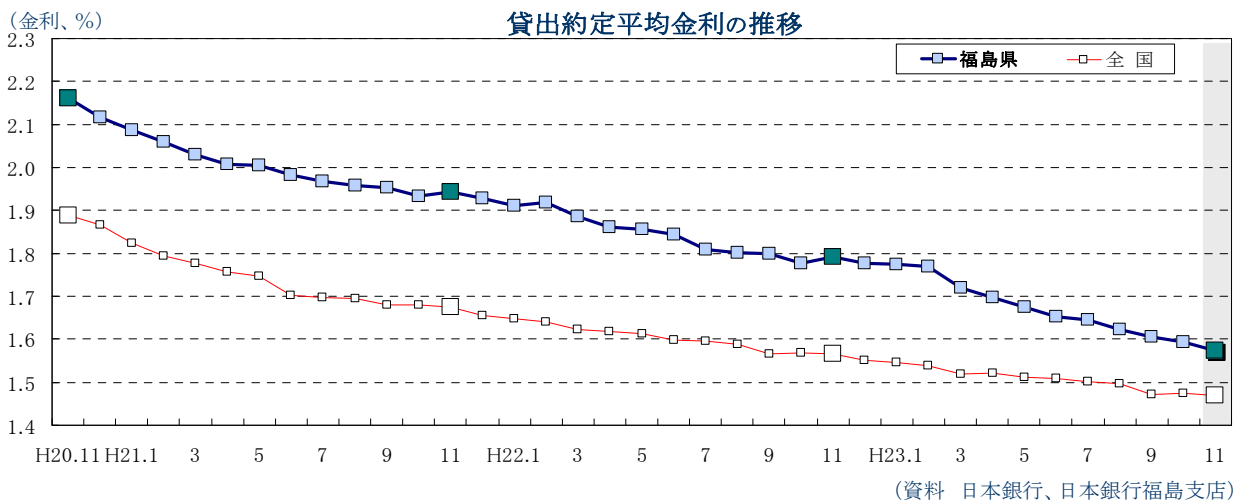
◆ 金融機関貸出残高(11月)は総額3兆8,840億円、対前年同月比2.0%増となり、7か月連続で前年を上回っている。



【貸出残高】

景気拡大期には企業が設備投資を増やし、資金需要が拡大するため貸出残高は増加します。また、銀行の貸出余力が増えれば貸出残高は増加します。具体的な近年の例としては、法人向けは企業が新規借入よりも債務の返済を優先させたり、金融機関が不良債権処理を優先させたりすると、貸出は減少します。個人向けは住宅ローン等が堅調だと増加します。

◆ 貸出約定平均金利(11月)は、1.573%、対前月差0.021ポイント低下し、12か月連続で前月を下回っている。

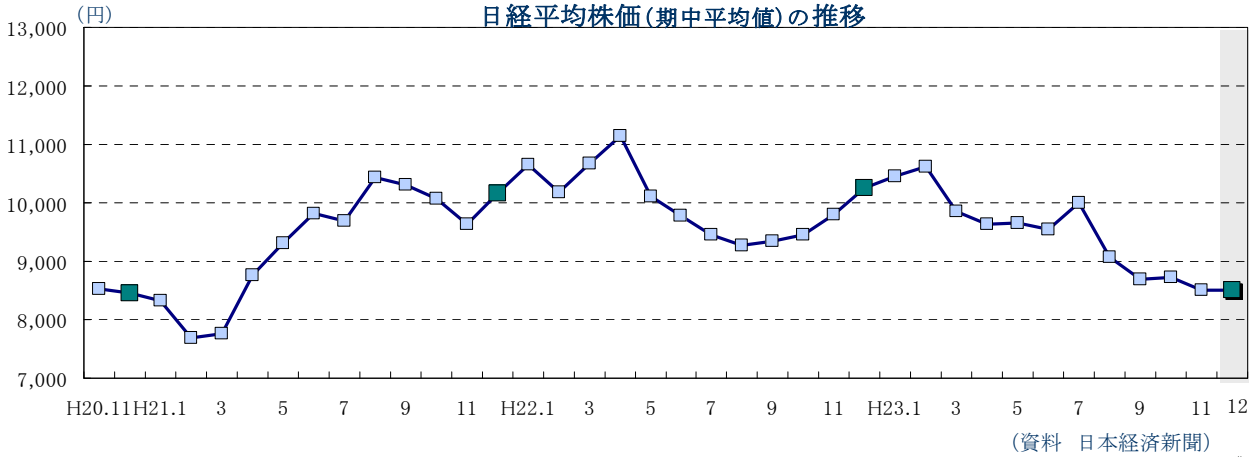


【貸出約定平均金利】

金融機関が過去に貸し出しを行った際の貸出金利を現在の貸出残高で加重平均したものです。銀行融資の金利が現実にはどのくらいになっているかを示す指標です。

(7) 市場

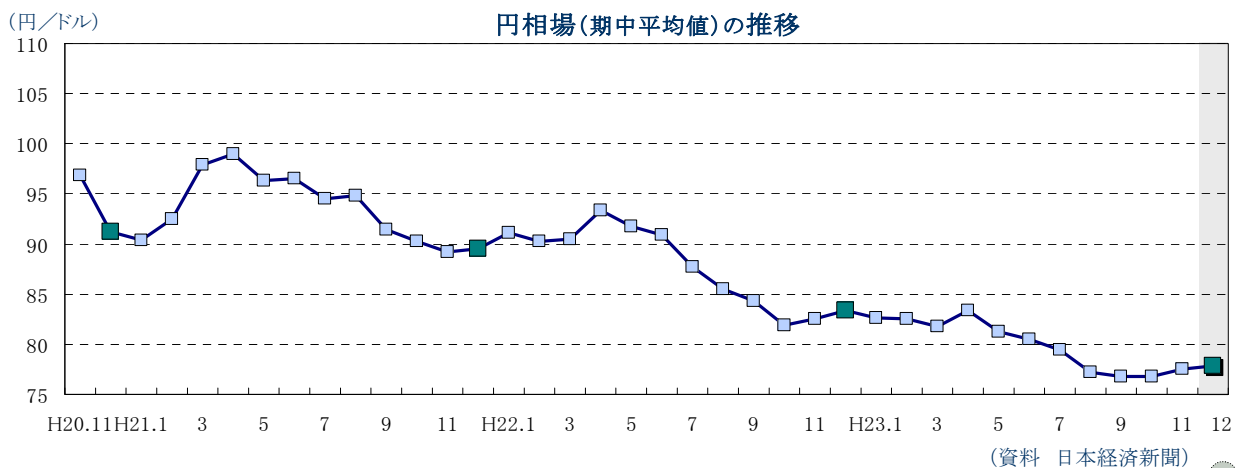
◆ 日経平均株価(12月)は8,505円99銭(期中平均値)、前月より12銭安となっており2か月連続で前月を下回っている。



【日経平均株価】

日本経済新聞社が東京証券取引所第一部に上場している225銘柄(定期的に入れ替え)を対象に平均金額を算出したもので、株式市場全体の株価水準を示す代表的な指標です。株価が上昇すると、企業資産の含み益が増え、企業活動に好影響を与えます。また、株式取引に直接参加していない消費者や経営者にも心理的に大きな影響を与えるため、景気の先行指標といわれます。

◆ 円相場(12月)は77円85銭(期中平均値)、前月より31銭の円安となっている。

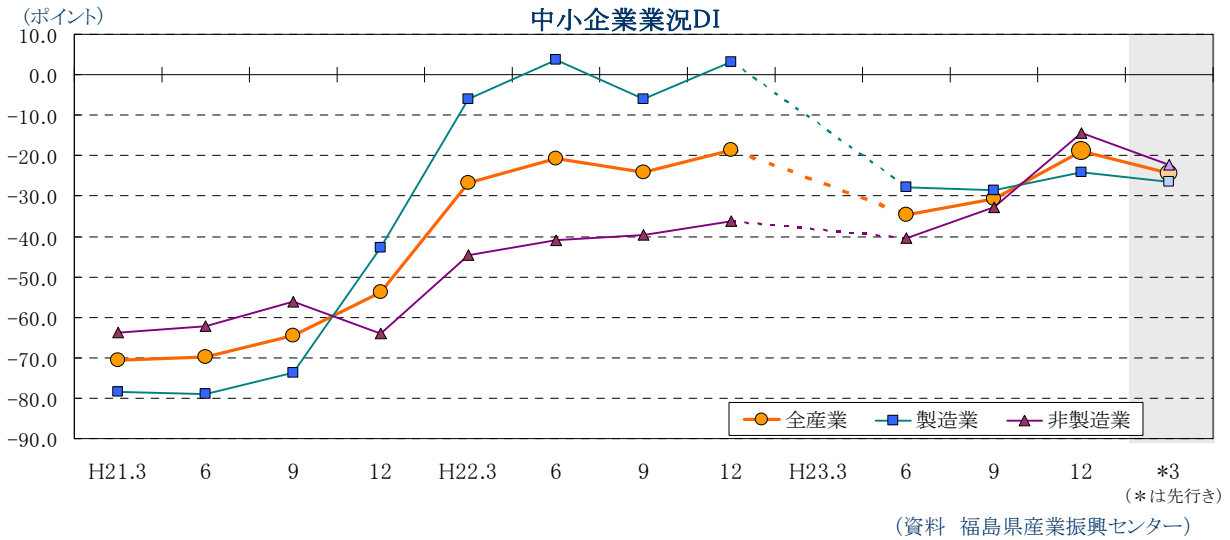


【円相場】

円とドルの交換比率(対ドルの為替レート)です。為替レートは商品の値段を決めるときと同様に需給バランスで決まります。その通貨を必要とする人が増えれば値上がりしますし、減れば値下がりします。為替レートの変動は、外国貿易を行っている企業に直接的な影響を及ぼし、「円高」では輸出業者が損をして輸入業者が得をします。「円安」の場合は逆になります。また、円高になると輸入品価格が低下し、物価下落の要因となり、一方、輸出価格が上昇し、国際競争力を低下させます。円相場が日本経済全体に与える影響はとて大きいいため、政府・日銀が介入する場合があります。

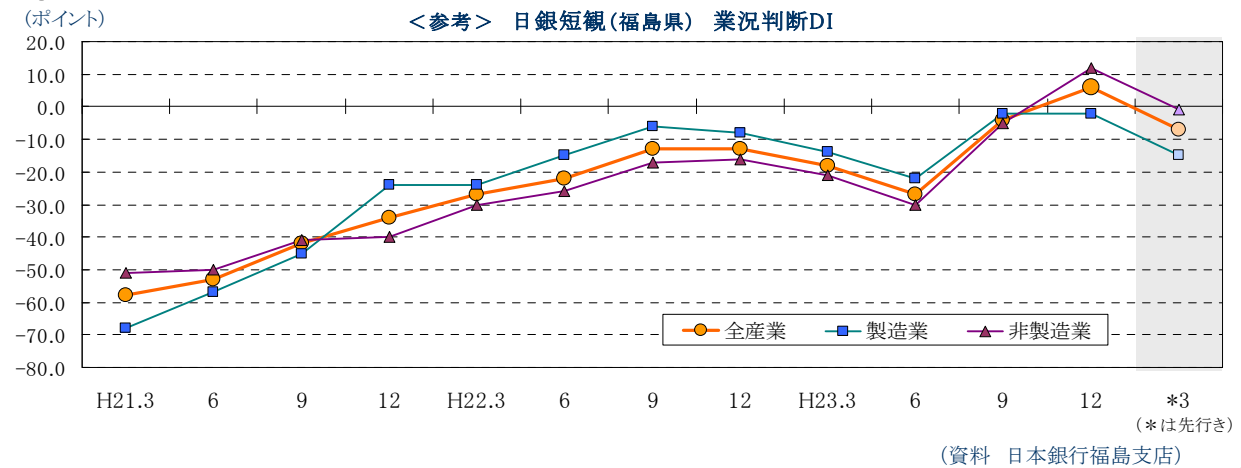
(8) 中小企業の業況

◆ 県内中小企業の業況感を表す業況DI(12月)はマイナス19.0、前回調査(9月)に比べると11.7ポイント改善している。産業別にみると、製造業は前回に比べ4.3ポイント改善、非製造業は前回に比べ18.5ポイント改善している。
3か月先の見通しは、マイナス24.3となり、悪化すると予測している。



【中小企業業況DI】

(公財)福島県産業振興センターが四半期ごとに実施しているビジネス・サーベイです。当該業界に対する企業家の景況判断を示したものです。DI(Diffusion Index)値とは、景気の動きをとらえるための指標であり、「良い」と回答した企業の割合から、「悪い」と回答した企業の割合を差し引いた数値です。



【参考:日銀短観】

業況等の現状・先行きに関する判断や、事業計画に関する実績・予測など、企業活動全般に関する調査項目について、日本銀行が四半期ごとに実施するビジネス・サーベイです。調査対象は資本金2千万円以上であるため、いわゆる零細企業は対象にならない点に留意する必要があります。また、各支店(例:日銀福島支店)が公表する「支店短観」は、各地域の産業構造を反映するため、全国分の短観が調査・集計対象としていない先(大手企業の出先事務所等)も一部調査・集計対象としています。業況判断DIは業況(「収益を中心とした、業況についての全般的な判断」)が「良い」と回答した企業の割合から「悪い」と回答した企業の割合を差し引いた数値で、企業の収益性と相関があります。

3 主要経済指標

| 区分 | 個人消費 | | | | 建設需要 | | | | | | | |
|---------|------------|-----|---------|-----|-------------|-------|------------|-----------|------------|---------|-----|----|
| | 1 大型小売店販売額 | | | | 2 乗用車新規登録台数 | | 3 新設住宅着工戸数 | | 4 公共工事請負金額 | | | |
| 年月 | 福島県 | | 全国 | | 福島県 | | 全国 | | 福島県 | | 全国 | |
| | 全店舗 | 既存店 | 全店舗 | 既存店 | 台 | 千台 | 戸 | 戸 | 百万円 | 億円 | 百万円 | 億円 |
| 平成20年 | 232,395 | - | 209,511 | - | 68,798 | 4,228 | 11,853 | 1,093,519 | 199,653 | 117,951 | | |
| 21年 | 226,470 | - | 197,758 | - | 62,867 | 3,924 | 9,657 | 788,410 | 212,151 | 123,776 | | |
| 22年 | 223,494 | - | 195,791 | - | 69,100 | 4,212 | 9,342 | 813,126 | 184,703 | 112,827 | | |
| 22年 III | 55,312 | - | 48,470 | - | 19,303 | 1,190 | 2,236 | 212,728 | 66,616 | 32,246 | | |
| IV | 59,004 | - | 53,558 | - | 11,999 | 750 | 2,579 | 218,745 | 43,809 | 25,369 | | |
| 23年 I | 50,654 | - | 46,990 | - | 13,541 | 964 | 1,792 | 192,380 | 22,924 | 24,194 | | |
| II | 51,227 | - | 47,463 | - | 10,674 | 649 | 1,432 | 203,170 | 30,833 | 28,136 | | |
| III | 55,606 | - | 48,146 | - | 15,019 | 978 | 2,306 | 229,590 | 67,122 | 31,142 | | |
| 22年 8月 | 19,207 | - | 15,853 | - | 6,176 | 369 | 668 | 71,921 | 17,533 | 9,216 | | |
| 9月 | 17,261 | - | 15,098 | - | 6,421 | 401 | 778 | 71,998 | 22,197 | 11,620 | | |
| 10月 | 18,085 | - | 16,131 | - | 4,166 | 251 | 813 | 71,390 | 15,791 | 10,367 | | |
| 11月 | 18,028 | - | 16,634 | - | 4,342 | 259 | 968 | 72,838 | 15,136 | 7,912 | | |
| 12月 | 22,892 | - | 20,793 | - | 3,491 | 240 | 798 | 74,517 | 12,882 | 7,090 | | |
| 23年 1月 | 19,704 | - | 17,406 | - | 4,344 | 259 | 676 | 66,709 | 5,787 | 5,218 | | |
| 2月 | 16,613 | - | 14,469 | - | 5,295 | 341 | 548 | 62,252 | 5,735 | 6,034 | | |
| 3月 | 14,337 | - | 15,115 | - | 3,902 | 364 | 568 | 63,419 | 11,402 | 12,942 | | |
| 4月 | 15,836 | - | 15,657 | - | 3,060 | 154 | 433 | 66,757 | 11,009 | 11,797 | | |
| 5月 | 17,521 | - | 15,774 | - | 3,072 | 200 | 487 | 63,726 | 7,516 | 6,355 | | |
| 6月 | 17,869 | - | 16,033 | - | 4,542 | 295 | 512 | 72,687 | 12,308 | 9,984 | | |
| 7月 | 19,520 | - | 17,843 | - | 4,857 | 313 | 638 | 83,398 | 16,841 | 9,597 | | |
| 8月 | 18,929 | - | 15,575 | - | 4,113 | 273 | 1,064 | 81,986 | 21,445 | 9,536 | | |
| 9月 | 17,157 | - | 14,728 | - | 6,049 | 392 | 604 | 64,206 | 28,836 | 12,009 | | |
| 10月 | 18,658 | - | 16,057 | - | 5,437 | 321 | 729 | 67,273 | 24,915 | 10,702 | | |
| 11月 | 18,168 | - | 16,373 | - | 5,670 | 324 | 873 | 72,635 | 20,936 | 8,447 | | |
| 12月 | - | - | - | - | 4,395 | 290 | - | - | 24,155 | 7,134 | | |

| | 対前年同月(期)比(%) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------|--------------|------|-----|------|-----|-----|------|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| | 福島県 | | 全国 | | 乗用車 | | 軽自動車 | | 住宅着工 | | 公共工事 | | | | | | | | | |
| 平成20年 | 0.9 | △ | 1.1 | △ | 1.2 | △ | 2.5 | △ | 2.3 | △ | 3.9 | △ | 1.1 | △ | 3.1 | △ | 2.8 | △ | 0.1 | |
| 21年 | △ | 2.5 | △ | 5.0 | △ | 5.6 | △ | 7.0 | △ | 8.6 | △ | 7.2 | △ | 18.5 | △ | 27.9 | △ | 6.3 | △ | 4.9 |
| 22年 | △ | 1.3 | △ | 3.0 | △ | 2.1 | △ | 2.6 | △ | 9.9 | △ | 7.4 | △ | 3.3 | △ | 3.1 | △ | 12.9 | △ | 8.8 |
| 22年 III | 0.6 | △ | 1.1 | △ | 1.1 | △ | 1.6 | △ | 19.8 | △ | 13.4 | △ | 7.5 | △ | 13.8 | △ | 7.9 | △ | 12.6 | |
| IV | △ | 0.2 | △ | 0.5 | △ | 0.1 | △ | 0.5 | △ | 27.9 | △ | 27.2 | △ | 2.0 | △ | 6.9 | △ | 13.5 | △ | 14.8 |
| 23年 I | △ | 8.0 | △ | 7.1 | △ | 2.1 | △ | 2.6 | △ | 37.9 | △ | 25.6 | △ | 19.4 | △ | 3.2 | △ | 43.5 | △ | 3.2 |
| II | △ | 5.3 | △ | 0.3 | △ | 0.6 | △ | 1.6 | △ | 33.2 | △ | 33.6 | △ | 37.9 | △ | 4.1 | △ | 40.0 | △ | 9.3 |
| III | △ | 0.5 | △ | 4.2 | △ | 0.7 | △ | 1.7 | △ | 22.2 | △ | 17.8 | △ | 3.1 | △ | 7.9 | △ | 0.8 | △ | 3.4 |
| 22年 8月 | 0.0 | △ | 1.2 | △ | 1.1 | △ | 1.8 | △ | 51.9 | △ | 40.1 | △ | 16.9 | △ | 20.4 | △ | 21.8 | △ | 8.4 | |
| 9月 | 0.1 | △ | 0.9 | △ | 1.0 | △ | 1.7 | △ | 2.2 | △ | 3.2 | △ | 4.9 | △ | 17.7 | △ | 29.3 | △ | 18.8 | |
| 10月 | 1.0 | △ | 0.9 | △ | 1.2 | △ | 0.4 | △ | 27.7 | △ | 25.9 | △ | 2.6 | △ | 6.4 | △ | 26.7 | △ | 18.1 | |
| 11月 | 0.0 | △ | 1.5 | △ | 0.5 | △ | 0.1 | △ | 30.7 | △ | 29.8 | △ | 15.7 | △ | 6.8 | △ | 2.7 | △ | 6.3 | |
| 12月 | △ | 1.3 | △ | 0.6 | △ | 1.6 | △ | 1.7 | △ | 24.5 | △ | 25.5 | △ | 6.9 | △ | 7.5 | △ | 4.9 | △ | 18.1 |
| 23年 1月 | △ | 0.8 | △ | 0.4 | △ | 0.6 | △ | 0.7 | △ | 22.6 | △ | 19.0 | △ | 7.0 | △ | 2.7 | △ | 37.9 | △ | 9.9 |
| 2月 | 0.2 | △ | 2.3 | △ | 1.0 | △ | 0.5 | △ | 15.1 | △ | 13.8 | △ | 29.4 | △ | 10.1 | △ | 29.5 | △ | 4.2 | |
| 3月 | △ | 23.1 | △ | 23.1 | △ | 6.5 | △ | 7.5 | △ | 60.8 | △ | 37.4 | △ | 21.0 | △ | 2.4 | △ | 50.7 | △ | 3.5 |
| 4月 | △ | 12.6 | △ | 5.1 | △ | 0.9 | △ | 1.9 | △ | 39.1 | △ | 48.5 | △ | 29.4 | △ | 0.3 | △ | 44.3 | △ | 11.2 |
| 5月 | △ | 5.2 | △ | 0.0 | △ | 1.3 | △ | 2.5 | △ | 36.7 | △ | 33.3 | △ | 39.7 | △ | 6.4 | △ | 37.9 | △ | 14.1 |
| 6月 | 2.1 | △ | 6.0 | △ | 0.4 | △ | 0.5 | △ | 25.7 | △ | 21.9 | △ | 42.1 | △ | 5.8 | △ | 36.9 | △ | 3.4 | |
| 7月 | 3.6 | △ | 7.2 | △ | 1.8 | △ | 0.8 | △ | 27.6 | △ | 25.6 | △ | 19.2 | △ | 21.2 | △ | 37.4 | △ | 15.9 | |
| 8月 | △ | 1.4 | △ | 2.5 | △ | 1.8 | △ | 2.6 | △ | 33.4 | △ | 26.0 | △ | 59.3 | △ | 14.0 | △ | 22.3 | △ | 3.5 |
| 9月 | △ | 0.6 | △ | 2.8 | △ | 2.4 | △ | 3.6 | △ | 5.8 | △ | 2.1 | △ | 22.4 | △ | 10.8 | △ | 29.9 | △ | 3.3 |
| 10月 | 3.2 | △ | 6.6 | △ | 0.5 | △ | 1.4 | △ | 30.5 | △ | 27.5 | △ | 10.3 | △ | 5.8 | △ | 57.8 | △ | 3.2 | |
| 11月 | 0.8 | △ | 4.1 | △ | 1.6 | △ | 2.5 | △ | 30.6 | △ | 25.1 | △ | 9.8 | △ | 0.3 | △ | 38.3 | △ | 6.8 | |
| 12月 | - | △ | - | △ | - | △ | - | △ | 25.9 | △ | 20.9 | △ | - | △ | - | △ | 87.5 | △ | 0.6 | |

※四半期値のI期は1～3月期、II期は4～6月期、III期は7～9月期、IV期は10～12月期を表す。

| 区分 | 建設需要 | | 生産活動 | | | | | | | | | | | |
|---------|-------------|--------|-----------|-------|------|------|-----------|-------|-------|------|-----------|-------|-------|-------|
| | 5業務用建築物着工棟数 | | 6 鉱工業生産指数 | | | | 7 鉱工業出荷指数 | | | | 8 鉱工業在庫指数 | | | |
| 年月 | 福島県 | 全国 | 福島県 | 全国 | 福島県 | 全国 | 福島県 | 全国 | 福島県 | 全国 | 福島県 | 全国 | 福島県 | 全国 |
| | | | 原指数 | 原指数 | 季調値 | 季調値 | 原指数 | 原指数 | 季調値 | 季調値 | 原指数 | 原指数 | 季調値 | 季調値 |
| | (棟) | (棟) | | | | | | | | | | | | |
| 平成20年 | 2,140 | 92,870 | 102.3 | 103.8 | - | - | 108.5 | 104.3 | - | - | 118.5 | 106.7 | - | - |
| 21年 | 1,654 | 76,743 | 79.7 | 81.1 | - | - | 84.8 | 82.1 | - | - | 110.1 | 97.2 | - | - |
| 22年 | 1,649 | 78,653 | 92.4 | 94.4 | - | - | 98.2 | 95.8 | - | - | 114.3 | 96.0 | - | - |
| 22年 III | 475 | 21,288 | 95.2 | 96.8 | 92.8 | 94.3 | 102.7 | 98.4 | 98.9 | 95.7 | 114.7 | 96.7 | 114.9 | 97.0 |
| IV | 445 | 20,445 | 94.5 | 97.1 | 91.1 | 94.2 | 98.9 | 98.3 | 95.9 | 95.4 | 109.7 | 97.9 | 111.9 | 96.2 |
| 23年 I | 354 | 18,035 | 79.4 | 89.1 | 83.3 | 92.3 | 83.5 | 91.5 | 88.8 | 93.6 | 104.1 | 100.7 | 100.5 | 100.1 |
| II | 263 | 18,720 | 75.3 | 86.1 | 77.7 | 88.6 | 75.8 | 84.7 | 77.8 | 88.1 | 89.8 | 99.0 | 91.1 | 100.9 |
| III | 442 | 20,945 | 87.7 | 94.8 | 85.5 | 92.4 | 90.1 | 96.4 | 86.8 | 93.9 | 112.0 | 101.7 | 112.3 | 102.1 |
| 22年 8月 | 156 | 6,916 | 89.5 | 90.1 | 94.9 | 94.5 | 96.3 | 90.7 | 98.5 | 95.7 | 118.7 | 97.9 | 118.7 | 97.1 |
| 9月 | 181 | 6,975 | 97.3 | 101.8 | 90.6 | 93.7 | 108.1 | 105.3 | 98.5 | 95.5 | 106.1 | 95.3 | 108.8 | 97.3 |
| 10月 | 147 | 7,136 | 93.1 | 95.2 | 89.6 | 92.4 | 97.5 | 94.8 | 94.9 | 93.2 | 109.4 | 98.1 | 111.1 | 96.8 |
| 11月 | 176 | 6,767 | 95.9 | 98.1 | 90.7 | 93.9 | 100.0 | 99.2 | 96.1 | 95.9 | 110.2 | 98.9 | 112.4 | 95.2 |
| 12月 | 122 | 6,542 | 94.6 | 98.1 | 93.0 | 96.2 | 99.2 | 100.8 | 96.7 | 97.1 | 109.4 | 96.6 | 112.3 | 96.7 |
| 23年 1月 | 111 | 6,193 | 83.6 | 86.8 | 94.6 | 96.2 | 88.1 | 86.2 | 101.9 | 96.3 | 109.2 | 103.9 | 105.2 | 100.5 |
| 2月 | 113 | 5,840 | 89.9 | 91.8 | 95.7 | 97.9 | 93.3 | 93.3 | 101.4 | 99.5 | 108.4 | 105.5 | 104.3 | 102.0 |
| 3月 | 130 | 6,002 | 64.7 | 88.7 | 59.5 | 82.7 | 69.2 | 95.0 | 63.1 | 85.0 | 94.7 | 92.6 | 92.1 | 97.7 |
| 4月 | 87 | 5,989 | 63.2 | 78.9 | 67.1 | 84.0 | 64.5 | 76.8 | 67.6 | 82.8 | 78.8 | 94.2 | 78.8 | 98.2 |
| 5月 | 69 | 5,804 | 73.1 | 82.8 | 79.9 | 89.2 | 72.6 | 79.6 | 79.8 | 87.2 | 91.0 | 102.6 | 92.6 | 103.7 |
| 6月 | 107 | 6,927 | 89.7 | 96.5 | 86.1 | 92.6 | 90.3 | 97.8 | 86.1 | 94.3 | 99.6 | 100.2 | 102.0 | 100.8 |
| 7月 | 113 | 7,105 | 89.6 | 95.4 | 85.8 | 93.0 | 91.9 | 96.2 | 89.6 | 94.4 | 105.5 | 100.9 | 103.6 | 100.7 |
| 8月 | 172 | 6,881 | 83.0 | 90.5 | 86.4 | 93.6 | 82.6 | 90.9 | 83.3 | 94.6 | 118.9 | 103.6 | 118.9 | 102.8 |
| 9月 | 157 | 6,959 | 90.5 | 98.4 | 84.3 | 90.5 | 95.9 | 102.2 | 87.4 | 92.7 | 111.7 | 100.5 | 114.5 | 102.7 |
| 10月 | 188 | 7,288 | 89.2 | 95.3 | 85.9 | 92.5 | 90.9 | 94.5 | 88.5 | 92.9 | 114.9 | 105.0 | 116.7 | 103.6 |
| 11月 | 187 | 7,388 | 85.5 | 94.0 | 80.8 | 90.0 | 86.6 | 94.6 | 83.2 | 91.4 | 117.2 | 107.0 | 119.6 | 103.0 |
| 12月 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |

| | 対前年同月(期)比(%) | | | | 対前月(期)比 | | 対前年同月(期)比(%) | | 対前月(期)比 | | 対前年同月(期)比(%) | | 対前月(期)比 | |
|---------|-----------------------------|--------|-------------------|--------|---------|--------|--------------|--------|---------|--------|--------------|-------|---------|-------|
| | 福島県 | 全国 | 福島県 | 全国 | 福島県 | 全国 | 福島県 | 全国 | 福島県 | 全国 | 福島県 | 全国 | 福島県 | 全国 |
| 平成20年 | △ 3.1 | △ 5.3 | △ 3.3 | △ 3.4 | - | - | △ 0.8 | △ 3.2 | - | - | 12.9 | 2.7 | - | - |
| 21年 | △ 22.7 | △ 17.4 | △ 22.1 | △ 21.9 | - | - | △ 21.8 | △ 21.3 | - | - | △ 7.1 | △ 8.9 | - | - |
| 22年 | △ 0.3 | 2.5 | 15.9 | 16.4 | - | - | 15.8 | 16.7 | - | - | 3.8 | △ 1.2 | - | - |
| 22年 III | 14.7 | 7.3 | 14.8 | 14.0 | 0.4 | △ 1.0 | 15.0 | 14.4 | 0.7 | △ 0.8 | 8.4 | 2.4 | △ 5.7 | 0.9 |
| IV | 5.5 | 4.2 | 3.5 | 5.9 | △ 1.8 | △ 0.1 | 2.6 | 6.4 | △ 3.0 | △ 0.3 | 8.3 | 3.3 | △ 2.6 | △ 0.8 |
| 23年 I | △ 0.3 | 1.4 | △ 12.3 | △ 2.5 | △ 8.6 | △ 2.0 | △ 13.0 | △ 2.6 | △ 7.4 | △ 1.9 | △ 7.7 | 5.9 | △ 10.2 | 4.1 |
| II | △ 29.7 | △ 2.1 | △ 15.7 | △ 6.8 | △ 6.7 | △ 4.0 | △ 20.5 | △ 8.4 | △ 12.4 | △ 5.9 | △ 25.2 | 5.0 | △ 9.4 | 0.8 |
| III | △ 6.9 | △ 1.6 | △ 7.9 | △ 2.1 | 10.0 | 4.3 | △ 12.3 | △ 2.0 | 11.6 | 6.6 | △ 2.4 | 5.2 | 23.3 | 1.2 |
| 22年 8月 | 30.0 | 10.6 | 20.8 | 15.5 | 2.2 | △ 0.1 | 18.5 | 15.8 | △ 1.1 | △ 0.3 | 11.8 | 2.5 | 1.2 | 0.4 |
| 9月 | 30.2 | 10.7 | 10.6 | 12.1 | △ 4.5 | △ 0.8 | 13.9 | 12.9 | 0.0 | △ 0.2 | 2.1 | 3.5 | △ 8.3 | 0.2 |
| 10月 | △ 3.3 | 5.1 | 2.9 | 5.0 | △ 1.1 | △ 1.4 | 3.2 | 4.4 | △ 3.7 | △ 2.4 | 6.6 | 3.9 | 2.1 | △ 0.5 |
| 11月 | 43.1 | 5.2 | 4.2 | 7.0 | 1.2 | 1.6 | 4.4 | 8.7 | 1.3 | 2.9 | 9.0 | 2.0 | 1.2 | △ 1.7 |
| 12月 | △ 17.0 | 2.3 | 3.6 | 5.9 | 2.5 | 2.4 | 0.4 | 5.9 | 0.6 | 1.3 | 9.3 | 3.8 | △ 0.1 | 1.6 |
| 23年 1月 | △ 5.1 | 4.1 | 3.5 | 4.6 | 1.7 | 0.0 | 2.7 | 3.2 | 5.4 | △ 0.8 | 0.3 | 7.0 | △ 6.3 | 3.9 |
| 2月 | 0.9 | 0.7 | 2.6 | 2.9 | 1.2 | 1.8 | 2.6 | 3.6 | △ 0.5 | 3.3 | △ 3.7 | 6.9 | △ 0.9 | 1.5 |
| 3月 | 3.2 | △ 0.7 | △ 37.2 | △ 13.1 | △ 37.8 | △ 15.5 | △ 37.8 | △ 12.1 | △ 37.8 | △ 14.6 | △ 19.0 | 3.5 | △ 11.7 | △ 4.2 |
| 4月 | △ 36.0 | △ 2.5 | △ 27.1 | △ 13.6 | 12.8 | 1.6 | △ 29.9 | △ 16.1 | 7.1 | △ 2.6 | △ 36.1 | 3.3 | △ 14.4 | 0.5 |
| 5月 | △ 36.1 | 1.2 | △ 13.3 | △ 5.5 | 19.1 | 6.2 | △ 18.8 | △ 8.0 | 18.0 | 5.3 | △ 24.7 | 7.7 | 17.5 | 5.6 |
| 6月 | △ 17.7 | △ 4.4 | △ 7.4 | △ 1.7 | 7.8 | 3.8 | △ 13.8 | △ 1.8 | 7.9 | 8.1 | △ 14.2 | 4.0 | 10.2 | △ 2.8 |
| 7月 | △ 18.1 | △ 3.9 | △ 9.3 | △ 3.0 | △ 0.3 | 0.4 | △ 11.3 | △ 3.0 | 4.1 | 0.1 | △ 11.6 | 4.1 | 1.6 | △ 0.1 |
| 8月 | 10.3 | △ 0.5 | △ 7.3 | 0.4 | 0.7 | 0.6 | △ 14.2 | 0.2 | △ 7.0 | 0.2 | 0.2 | 5.8 | 14.8 | 2.1 |
| 9月 | △ 13.3 | △ 0.2 | △ 7.0 | △ 3.3 | △ 2.4 | △ 3.3 | △ 11.3 | △ 2.9 | 4.9 | △ 2.0 | 5.3 | 5.5 | △ 3.7 | △ 0.1 |
| 10月 | 27.9 | 2.1 | △ 4.2 | 0.1 | 1.9 | 2.2 | △ 6.8 | △ 0.3 | 1.3 | 0.2 | 5.0 | 7.0 | 1.9 | 0.9 |
| 11月 | 6.3 | 9.2 | △ 10.8 | △ 4.2 | △ 5.9 | △ 2.7 | △ 13.4 | △ 4.6 | △ 6.0 | △ 1.6 | 6.4 | 8.2 | 2.5 | △ 0.6 |
| 12月 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 備考 | 全建築物から居住専用住宅、居住産業併用住宅を除いたもの | | 平成17年=100 | | | | 平成17年=100 | | | | 平成17年=100 | | | |
| 資料出所 | 「建築統計月報」国土交通省 | | 「鉱工業指数月報」福島県経済産業省 | | | | | | | | | | | |

| 区分 | 生産活動 | | 雇用・労働 | | | | | | | |
|---------|-----------|---------|-----------|------|-----------|------|----------|-------|-----------|-------|
| | 9 大口電力使用量 | | 10 新規求人倍率 | | 11 有効求人倍率 | | 12 有効求人数 | | 13 有効求職者数 | |
| 年月 | 福島県 | 全国 | 福島県 | 全国 | 福島県 | 全国 | 福島県 | 全国 | 福島県 | 全国 |
| | (千kWh) | (百万kWh) | (倍) | (倍) | (倍) | (倍) | (人) | (千人) | (人) | (千人) |
| 平成20年 | 7,064,775 | 298,666 | 0.96 | 1.25 | 0.68 | 0.88 | 25,123 | 1,832 | 36,828 | 2,091 |
| 21年 | 5,846,105 | 251,791 | 0.67 | 0.79 | 0.36 | 0.47 | 18,113 | 1,309 | 50,502 | 2,762 |
| 22年 | 6,478,354 | 279,616 | 0.74 | 0.89 | 0.42 | 0.52 | 19,480 | 1,404 | 46,703 | 2,706 |
| 22年 III | 1,715,143 | 74,912 | 0.74 | 0.90 | 0.44 | 0.54 | 20,367 | 1,430 | 45,537 | 2,682 |
| IV | 1,646,322 | 70,174 | 0.78 | 0.97 | 0.47 | 0.57 | 21,382 | 1,540 | 41,880 | 2,513 |
| 23年 I | 1,384,329 | 66,405 | 0.81 | 1.00 | 0.50 | 0.62 | 21,281 | 1,638 | 41,678 | 2,531 |
| II | 1,206,728 | 66,099 | 0.86 | 0.98 | 0.52 | 0.62 | 24,506 | 1,571 | 53,156 | 2,837 |
| III | 1,519,742 | 70,898 | 1.13 | 1.08 | 0.65 | 0.66 | 30,965 | 1,689 | 47,416 | 2,601 |
| 22年 8月 | 562,253 | 24,669 | 0.72 | 0.90 | 0.44 | 0.54 | 19,914 | 1,417 | 45,369 | 2,666 |
| 9月 | 557,747 | 24,881 | 0.76 | 0.92 | 0.45 | 0.55 | 21,814 | 1,513 | 44,588 | 2,640 |
| 10月 | 557,246 | 24,036 | 0.80 | 0.95 | 0.46 | 0.56 | 22,197 | 1,564 | 43,643 | 2,615 |
| 11月 | 544,285 | 23,038 | 0.76 | 0.97 | 0.47 | 0.57 | 21,890 | 1,574 | 42,417 | 2,539 |
| 12月 | 544,791 | 23,100 | 0.78 | 0.99 | 0.47 | 0.58 | 20,059 | 1,483 | 39,579 | 2,384 |
| 23年 1月 | 549,465 | 22,815 | 0.89 | 1.02 | 0.50 | 0.61 | 20,373 | 1,547 | 39,952 | 2,429 |
| 2月 | 523,497 | 22,192 | 0.76 | 0.99 | 0.50 | 0.62 | 21,771 | 1,643 | 41,636 | 2,491 |
| 3月 | 311,367 | 21,398 | 0.79 | 0.98 | 0.49 | 0.63 | 21,698 | 1,725 | 43,445 | 2,672 |
| 4月 | 334,999 | 20,920 | 0.74 | 0.95 | 0.49 | 0.61 | 22,728 | 1,610 | 51,918 | 2,867 |
| 5月 | 405,000 | 21,713 | 0.79 | 0.98 | 0.50 | 0.61 | 23,418 | 1,529 | 53,711 | 2,845 |
| 6月 | 466,729 | 23,466 | 1.04 | 1.00 | 0.57 | 0.63 | 27,373 | 1,573 | 53,840 | 2,799 |
| 7月 | 520,397 | 24,166 | 1.11 | 1.07 | 0.62 | 0.64 | 29,056 | 1,597 | 49,384 | 2,653 |
| 8月 | 487,167 | 23,259 | 1.05 | 1.05 | 0.64 | 0.66 | 30,674 | 1,692 | 47,459 | 2,600 |
| 9月 | 512,178 | 23,473 | 1.24 | 1.11 | 0.68 | 0.67 | 33,166 | 1,779 | 45,404 | 2,550 |
| 10月 | 489,216 | 23,263 | 1.17 | 1.13 | 0.68 | 0.67 | 33,694 | 1,830 | 44,845 | 2,531 |
| 11月 | 493,138 | 22,519 | 1.28 | 1.18 | 0.71 | 0.69 | 34,164 | 1,832 | 43,626 | 2,418 |
| 12月 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |

| | 対前年同月(期)比(%) | | 対前月(期)(ポイント) | | | | 対前年同月(期)比(%) | | | | | | | | | | | | | |
|---------|-----------------|------|--|------|---|------|--------------|------|---|------|---|------|---|------|---|------|---|------|---|------|
| 平成20年 | 5.4 | 0.9 | △ | 0.34 | △ | 0.27 | △ | 0.21 | △ | 0.16 | △ | 17.9 | △ | 16.0 | △ | 6.9 | △ | 0.1 | | |
| 21年 | △ | 17.2 | △ | 15.7 | △ | 0.29 | △ | 0.46 | △ | 0.32 | △ | 0.41 | △ | 27.9 | △ | 28.5 | △ | 37.1 | △ | 32.1 |
| 22年 | 10.8 | 11.1 | | 0.07 | | 0.10 | | 0.06 | | 0.05 | | 7.5 | | 7.2 | △ | 7.5 | △ | 2.0 | | 2.0 |
| 22年 III | 11.2 | 10.7 | | 0.00 | | 0.04 | | 0.04 | | 0.04 | | 17.9 | | 17.1 | △ | 11.9 | △ | 6.6 | | 6.6 |
| IV | 4.0 | 5.3 | | 0.04 | | 0.07 | | 0.03 | | 0.03 | | 23.5 | | 22.2 | △ | 12.8 | △ | 6.4 | | 6.4 |
| 23年 I | △ | 8.9 | | 0.03 | | 0.03 | | 0.03 | | 0.05 | | 18.7 | | 23.6 | △ | 13.3 | △ | 6.3 | | 6.3 |
| II | △ | 24.4 | △ | 4.1 | △ | 0.02 | | 0.02 | | 0.00 | | 34.4 | | 19.0 | | 3.5 | △ | 3.1 | | 3.1 |
| III | △ | 11.4 | △ | 5.4 | | 0.27 | | 0.10 | | 0.04 | | 52.0 | | 18.2 | | 4.1 | △ | 3.0 | | 3.0 |
| 22年 8月 | 15.0 | 11.6 | △ | 0.03 | | 0.02 | | 0.00 | | 0.01 | | 19.1 | | 18.3 | △ | 11.4 | △ | 6.8 | | 6.8 |
| 9月 | 6.3 | 10.4 | | 0.04 | | 0.02 | | 0.01 | | 0.01 | | 21.2 | | 19.4 | △ | 11.2 | △ | 6.0 | | 6.0 |
| 10月 | 4.0 | 5.8 | | 0.04 | | 0.03 | | 0.01 | | 0.01 | | 21.6 | | 19.6 | △ | 13.2 | △ | 6.8 | | 6.8 |
| 11月 | 3.9 | 4.8 | △ | 0.04 | | 0.02 | | 0.01 | | 0.01 | | 24.9 | | 23.8 | △ | 12.0 | △ | 5.7 | | 5.7 |
| 12月 | 4.0 | 5.2 | | 0.02 | | 0.02 | | 0.00 | | 0.01 | | 24.2 | | 23.4 | △ | 13.4 | △ | 6.7 | | 6.7 |
| 23年 1月 | 6.4 | 5.8 | | 0.11 | | 0.03 | | 0.03 | | 0.03 | | 23.8 | | 23.8 | △ | 13.8 | △ | 7.1 | | 7.1 |
| 2月 | 8.2 | 4.6 | △ | 0.13 | △ | 0.03 | | 0.00 | | 0.01 | | 25.2 | | 25.0 | △ | 10.5 | △ | 5.8 | | 5.8 |
| 3月 | △ | 40.2 | △ | 6.3 | △ | 0.03 | △ | 0.01 | △ | 0.01 | | 8.7 | | 22.2 | △ | 15.3 | △ | 6.2 | | 6.2 |
| 4月 | △ | 37.1 | △ | 6.2 | △ | 0.05 | △ | 0.03 | △ | 0.02 | | 23.8 | | 19.6 | △ | 2.9 | △ | 4.7 | | 4.7 |
| 5月 | △ | 21.4 | △ | 3.3 | | 0.05 | | 0.03 | | 0.00 | | 32.6 | | 19.6 | | 5.0 | △ | 2.6 | | 2.6 |
| 6月 | △ | 14.9 | △ | 2.8 | | 0.25 | | 0.02 | | 0.07 | | 46.4 | | 18.0 | | 8.9 | △ | 1.8 | | 1.8 |
| 7月 | △ | 12.6 | △ | 4.7 | | 0.07 | | 0.07 | | 0.05 | | 50.0 | | 17.4 | | 5.9 | △ | 3.2 | | 3.2 |
| 8月 | △ | 13.4 | △ | 5.7 | △ | 0.06 | △ | 0.02 | | 0.02 | | 54.0 | | 19.4 | | 4.6 | △ | 2.5 | | 2.5 |
| 9月 | △ | 8.2 | △ | 5.7 | | 0.19 | | 0.06 | | 0.04 | | 52.0 | | 17.6 | | 1.8 | △ | 3.4 | | 3.4 |
| 10月 | △ | 12.2 | △ | 3.2 | △ | 0.07 | | 0.02 | | 0.00 | | 51.8 | | 17.1 | | 2.8 | △ | 3.2 | | 3.2 |
| 11月 | △ | 9.4 | △ | 2.3 | | 0.11 | | 0.05 | | 0.03 | | 56.1 | | 16.4 | | 2.9 | △ | 4.8 | | 4.8 |
| 12月 | - | - | | - | | - | | - | | - | | - | | - | | - | | - | | - |
| 備考 | 県は東北電力、国は電力10社計 | | 学卒を除きパートを含む。 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 四半期値は、月平均値 | | 新規、有効求人倍率の年値は原数値、各月の値は季節調整値 四半期値は各期ごとの平均 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 資料 | 東北電力株式会社福島支店 | | 「雇用失業情勢」 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 出所 | 電気事業連合会 | | 福島労働局職業安定部 | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 区分 | 雇用・労働 | | | | | | | | | | 物価 |
|---------|-------------------|------|---------------------|-------|------------------|-------|-----------|-------|--------------------|------|-----------------|
| | 14 雇用保険受給者 実人員 | | 15 現金給与総額 指数(名目) | | 16 所定外労働 時間指数 | | 17 常用雇用指数 | | 18 パートタイム 労働者比率 | | 19 国内企業 物価指数 |
| 年月 | 福島県 | 全国 | 福島県 | 全国 | 福島県 | 全国 | 福島県 | 全国 | 福島県 | 全国 | 全国 |
| | (人) | (千人) | | | | | | | (%) | (%) | |
| 平成20年 | 9,658 | 561 | 94.5 | 98.9 | 98.3 | 102.3 | 103.6 | 103.7 | 19.3 | 26.1 | 108.7 |
| 21年 | 17,620 | 852 | 89.0 | 95.1 | 75.4 | 86.7 | 102.3 | 103.9 | 24.0 | 27.3 | 103.0 |
| 22年 | 12,165 | 687 | 90.8 | 95.7 | 88.5 | 94.5 | 101.4 | 104.2 | 24.0 | 27.8 | 102.9 |
| 22年 III | 12,068 | 715 | 87.0 | 91.6 | 90.3 | 93.7 | 101.8 | 104.6 | 23.5 | 28.0 | 102.8 |
| IV | 10,472 | 632 | 104.7 | 110.4 | 93.3 | 97.8 | 101.1 | 104.7 | 24.4 | 28.2 | 103.1 |
| 23年 I | 9,690 | 577 | - | 81.8 | - | 94.7 | - | 104.1 | - | 28.2 | 104.3 |
| II | 22,542 | 652 | - | 98.5 | - | 91.5 | - | 104.9 | - | 27.9 | 105.6 |
| III | 22,145 | 693 | 88.8 | 91.3 | 78.7 | 93.1 | 93.5 | 105.3 | 22.3 | 28.2 | 105.5 |
| 22年 8月 | 12,236 | 729 | 83.7 | 83.0 | 87.7 | 92.5 | 102.1 | 104.5 | 23.2 | 28.0 | 102.8 |
| 9月 | 11,531 | 694 | 78.4 | 80.8 | 91.2 | 93.4 | 101.5 | 104.6 | 23.5 | 28.0 | 102.8 |
| 10月 | 10,864 | 651 | 78.7 | 81.0 | 93.0 | 96.2 | 101.1 | 104.7 | 24.1 | 28.1 | 103.0 |
| 11月 | 10,394 | 637 | 80.6 | 84.1 | 92.1 | 98.1 | 101.0 | 104.7 | 25.0 | 28.3 | 103.0 |
| 12月 | 10,157 | 607 | 154.8 | 166.2 | 94.7 | 99.1 | 101.1 | 104.7 | 24.2 | 28.3 | 103.4 |
| 23年 1月 | 9,794 | 589 | 80.7 | 82.4 | 87.7 | 92.5 | 99.9 | 104.4 | 23.0 | 28.2 | 104.0 |
| 2月 | 9,464 | 569 | 78.7 | 79.9 | 92.1 | 95.3 | 97.6 | 104.2 | 24.4 | 28.2 | 104.1 |
| 3月 | 9,811 | 572 | - | 83.1 | - | 96.2 | - | 103.8 | - | 28.2 | 104.7 |
| 4月 | 18,056 | 590 | - | 82.1 | - | 94.3 | - | 104.8 | - | 27.8 | 105.7 |
| 5月 | 23,753 | 657 | 76.7 | 81.8 | 80.7 | 88.7 | 91.9 | 104.9 | 24.1 | 27.8 | 105.5 |
| 6月 | 25,816 | 708 | 125.8 | 131.5 | 86.0 | 91.5 | 91.8 | 105.1 | 21.8 | 28.0 | 105.5 |
| 7月 | 23,862 | 692 | 102.9 | 110.8 | 80.7 | 94.3 | 93.3 | 105.4 | 23.2 | 28.2 | 105.7 |
| 8月 | 22,609 | 720 | 84.5 | 82.7 | 74.6 | 90.6 | 93.5 | 105.2 | 21.2 | 28.2 | 105.5 |
| 9月 | 19,965 | 666 | 79.1 | 80.5 | 80.7 | 94.3 | 93.8 | 105.2 | 22.4 | 28.2 | 105.4 |
| 10月 | 18,128 | 634 | 79.3 | 81.0 | 78.9 | 97.2 | 93.8 | 105.2 | 23.0 | 28.3 | 104.6 |
| 11月 | 15,744 | 609 | 79.3 | 83.9 | 77.2 | 98.1 | 95.2 | 105.4 | 22.4 | 28.5 | 104.6 |
| 12月 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | P 104.7 |

| | 対前年同月(期)比(%) | | | | | | | | | | 対前月(期)(ポイント) | | 対前年同月(期)比(%) |
|----------|--------------|--------|----------------------------|-------|--------|--------|---|-----|-------|-------|---------------------------|----|--------------|
| | 福島県 | 全国 | 福島県 | 全国 | 福島県 | 全国 | 福島県 | 全国 | 福島県 | 全国 | 福島県 | 全国 | |
| 平成20年 | 5.0 | △ 1.6 | △ 2.0 | △ 0.3 | △ 4.1 | △ 1.5 | 1.3 | 1.5 | △ 0.1 | 0.0 | 4.5 | | |
| 21年 | 82.4 | 51.9 | △ 5.8 | △ 3.8 | △ 23.3 | △ 15.2 | △ 1.3 | 0.2 | 4.7 | 1.2 | △ 5.2 | | |
| 22年 | △ 31.0 | △ 19.4 | 2.0 | 0.6 | 17.4 | 9.0 | △ 0.9 | 0.3 | 0.0 | 0.5 | △ 0.1 | | |
| 22年 III | △ 36.9 | △ 25.4 | 1.3 | 0.9 | 16.1 | 9.6 | 0.0 | 0.5 | 0.4 | 0.5 | △ 0.1 | | |
| IV | △ 34.7 | △ 21.6 | 3.1 | 0.2 | 15.2 | 5.7 | △ 1.4 | 0.7 | 0.9 | 0.2 | 1.0 | | |
| 23年 I | △ 29.2 | △ 18.8 | - | 0.1 | - | 1.7 | - | 0.7 | - | 0.0 | 1.8 | | |
| II | 81.2 | △ 5.7 | - | △ 0.4 | - | △ 2.0 | - | 0.7 | - | △ 0.3 | 2.5 | | |
| III | 83.5 | △ 3.1 | 2.1 | △ 0.3 | △ 12.8 | △ 0.6 | △ 8.2 | 0.7 | - | 0.3 | 2.6 | | |
| 22年 8月 | △ 36.3 | △ 24.2 | 3.5 | 0.4 | 16.3 | 10.1 | 0.4 | 0.5 | △ 0.7 | △ 0.0 | 0.0 | | |
| 9月 | △ 35.3 | △ 23.7 | 1.3 | 0.9 | 10.5 | 7.6 | △ 0.2 | 0.6 | 0.3 | 0.0 | △ 0.1 | | |
| 10月 | △ 36.1 | △ 23.9 | 0.1 | 0.5 | 8.1 | 6.2 | △ 0.4 | 0.7 | 0.6 | 0.1 | 0.9 | | |
| 11月 | △ 34.4 | △ 20.1 | 1.5 | 0.2 | 17.9 | 6.1 | △ 2.0 | 0.7 | 0.9 | 0.2 | 0.9 | | |
| 12月 | △ 33.5 | △ 20.8 | 5.4 | 0.1 | 20.0 | 5.1 | △ 1.7 | 0.6 | △ 0.8 | △ 0.0 | 1.2 | | |
| 23年 1月 | △ 31.6 | △ 19.4 | 3.9 | 0.4 | 16.3 | 3.2 | △ 0.8 | 0.8 | △ 1.2 | △ 0.1 | 1.6 | | |
| 2月 | △ 30.5 | △ 19.1 | 3.4 | 0.3 | 8.2 | 3.0 | △ 2.7 | 0.7 | 1.4 | 0.0 | 1.7 | | |
| 3月 | △ 25.2 | △ 17.8 | - | △ 0.1 | - | △ 1.0 | - | 0.8 | - | 0.0 | 2.0 | | |
| 4月 | 41.2 | △ 13.0 | - | △ 1.4 | - | △ 3.9 | - | 0.7 | - | △ 0.4 | 2.6 | | |
| 5月 | 103.0 | △ 1.9 | △ 0.5 | 1.0 | △ 1.1 | △ 2.1 | △ 9.2 | 0.6 | - | 0.0 | 2.2 | | |
| 6月 | 101.2 | △ 2.3 | 1.1 | △ 0.7 | 2.1 | 0.0 | △ 9.6 | 0.8 | △ 2.3 | 0.1 | 2.5 | | |
| 7月 | 91.9 | △ 4.0 | 3.9 | △ 0.2 | △ 12.4 | △ 1.0 | △ 8.4 | 0.7 | 1.4 | 0.3 | 2.8 | | |
| 8月 | 84.8 | △ 1.2 | 1.0 | △ 0.4 | △ 14.9 | △ 2.1 | △ 8.4 | 0.7 | △ 2.0 | 0.0 | 2.6 | | |
| 9月 | 73.1 | △ 4.0 | 0.9 | △ 0.4 | △ 11.5 | 1.0 | △ 7.6 | 0.6 | 1.2 | △ 0.0 | 2.5 | | |
| 10月 | 66.9 | △ 2.6 | 0.8 | 0.0 | △ 15.2 | 1.0 | △ 7.2 | 0.5 | 0.6 | 0.1 | 1.6 | | |
| 11月 | 51.5 | △ 4.4 | △ 1.6 | △ 0.2 | △ 16.2 | 0.0 | △ 5.7 | 0.7 | △ 0.6 | 0.2 | 1.6 | | |
| 12月 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | P 1.3 | | |
| 備考 | 四半期値は各期ごとの平均 | | 全産業5人以上 平成17年=100 | | | | 全産業5人以上 平成17年=100、平成16年の前年同期(月)比は、旧産業集計に | | | | (国内総平均) 平成17年=100 | | |
| 資料 出所 | | | 「毎月勤労統計調査結果速報」福島県 厚生労働省 | | | | | | | | 「経済統計月報」 日本銀行 Pは速報値 | | |

| 区分 | 物価 | | | | 企業・金融 | | | | | | | |
|---------|------------|---------------|-------|---------------|---------|--------|--------|---------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| | 20 消費者物価指数 | | | | 21 企業倒産 | | | | 22 金融機関預貸残高 | | | |
| | 福島市 | | 全 国 | | 福島県 | | 全 国 | | 福島県 | | 全 国 | |
| 年月 | 総合 | 生鮮食品 を除く総合 | 総合 | 生鮮食品 を除く総合 | 件数 | 負債総額 | 件数 | 負債総額 | 金融機関 預金残高 | 金融機関 貸出残高 | 国内銀行 預金残高 | 国内銀行 貸出残高 |
| | | | | | (件) | (百万円) | (件) | (億円) | (億円) | (億円) | (百億円) | (百億円) |
| 平成20年 | 102.7 | 103.0 | 102.1 | 102.3 | 201 | 83,773 | 15,646 | 122,920 | 63,665 | 38,818 | 55,706 | 43,685 |
| 21年 | 101.1 | 101.5 | 100.7 | 101.0 | 161 | 35,565 | 15,480 | 69,301 | 64,985 | 38,393 | 56,949 | 42,857 |
| 22年 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 119 | 41,675 | 13,321 | 71,608 | 66,569 | 38,311 | 57,849 | 42,042 |
| 22年 III | 99.3 | 99.3 | 99.7 | 99.7 | 29 | 8,601 | 3,232 | 18,823 | 65,365 | 38,258 | 57,963 | 42,341 |
| IV | 99.6 | 99.5 | 99.9 | 99.8 | 24 | 15,909 | 3,299 | 10,404 | 66,569 | 38,311 | 57,849 | 42,042 |
| 23年 I | 99.4 | 99.2 | 99.6 | 99.5 | 28 | 13,828 | 3,211 | 9,168 | 66,541 | 38,357 | 59,756 | 42,515 |
| II | 99.7 | 99.9 | 99.8 | 100.0 | 33 | 7,259 | 3,312 | 7,486 | 72,830 | 38,384 | 59,603 | 41,906 |
| III | 99.5 | 99.5 | 99.8 | 99.9 | 24 | 12,066 | 3,108 | 12,273 | 72,789 | 38,778 | 59,412 | 42,406 |
| 22年 8月 | 99.2 | 99.4 | 99.7 | 99.7 | 5 | 512 | 1,064 | 1,889 | 65,615 | 38,214 | 57,668 | 41,942 |
| 9月 | 99.5 | 99.3 | 99.9 | 99.7 | 10 | 3,088 | 1,102 | 14,180 | 65,365 | 38,258 | 57,963 | 42,341 |
| 10月 | 99.9 | 99.8 | 100.2 | 100.0 | 7 | 3,968 | 1,136 | 5,201 | 65,518 | 38,391 | 57,522 | 41,926 |
| 11月 | 99.7 | 99.6 | 99.9 | 99.8 | 11 | 6,421 | 1,061 | 2,738 | 65,689 | 38,082 | 57,736 | 41,744 |
| 12月 | 99.1 | 99.2 | 99.6 | 99.7 | 6 | 5,520 | 1,102 | 2,465 | 66,569 | 38,311 | 57,849 | 42,042 |
| 23年 1月 | 99.5 | 99.2 | 99.5 | 99.4 | 15 | 4,633 | 1,041 | 2,364 | 66,051 | 38,193 | 57,703 | 41,808 |
| 2月 | 99.3 | 99.0 | 99.5 | 99.4 | 4 | 1,168 | 987 | 4,102 | 66,041 | 38,199 | 58,113 | 41,862 |
| 3月 | 99.3 | 99.3 | 99.8 | 99.7 | 9 | 8,027 | 1,183 | 2,702 | 66,541 | 38,357 | 59,756 | 42,515 |
| 4月 | 100.0 | 100.2 | 99.9 | 100.0 | 12 | 2,097 | 1,076 | 2,796 | 69,223 | 38,074 | 59,618 | 42,072 |
| 5月 | 99.7 | 100.1 | 99.9 | 100.1 | 13 | 2,591 | 1,071 | 2,527 | 70,263 | 38,161 | 59,573 | 41,967 |
| 6月 | 99.5 | 99.5 | 99.7 | 99.8 | 8 | 2,571 | 1,165 | 2,164 | 72,830 | 38,384 | 59,603 | 41,906 |
| 7月 | 99.5 | 99.5 | 99.7 | 99.8 | 8 | 8,591 | 1,081 | 2,209 | 72,650 | 38,682 | 58,994 | 41,958 |
| 8月 | 99.7 | 99.6 | 99.9 | 99.9 | 8 | 506 | 1,026 | 7,940 | 72,907 | 38,688 | 59,057 | 41,822 |
| 9月 | 99.3 | 99.4 | 99.9 | 99.9 | 8 | 2,969 | 1,001 | 2,123 | 72,789 | 38,778 | 59,412 | 42,406 |
| 10月 | 99.5 | 99.6 | 100.0 | 99.8 | 6 | 5,696 | 976 | 1,559 | 73,089 | 38,811 | 59,137 | 42,068 |
| 11月 | 99.5 | 99.5 | 99.4 | 99.6 | 4 | 167 | 1,095 | 1,877 | 72,641 | 38,840 | 59,652 | 42,077 |
| 12月 | - | - | - | - | 4 | 553 | 1,032 | 3,567 | - | - | - | - |

| 対前年同月(期)比(%) | | | | | | | | | | | | | |
|--------------|-----------------|-------|-------|-------|----------------------------------|---|-------|--------|---|------|-------|-----|-------|
| 平成20年 | 2.0 | 2.0 | 1.4 | 1.5 | 40.6 | △ | 28.2 | 11.0 | 114.6 | 2.3 | 1.3 | 2.2 | 4.6 |
| 21年 | △ 1.6 | △ 1.5 | △ 1.4 | △ 1.3 | △ 19.9 | △ | 57.5 | △ 1.1 | △ 43.6 | 2.1 | △ 1.1 | 2.2 | △ 1.9 |
| 22年 | △ 1.1 | △ 1.5 | △ 0.7 | △ 1.0 | △ 26.1 | | 17.2 | △ 13.9 | 3.3 | 2.4 | △ 0.2 | 1.6 | △ 1.9 |
| 22年 III | △ 1.6 | △ 1.8 | △ 0.8 | △ 1.0 | △ 23.7 | | 46.5 | △ 14.5 | 95.3 | 2.4 | △ 0.5 | 2.4 | △ 1.3 |
| IV | △ 0.5 | △ 1.4 | 0.1 | △ 0.5 | △ 33.3 | | 158.6 | △ 6.5 | △ 18.8 | 2.4 | △ 0.2 | 1.6 | △ 1.9 |
| 23年 I | △ 1.3 | △ 1.6 | △ 0.5 | △ 0.8 | △ 20.0 | | 37.3 | △ 7.4 | △ 72.7 | 2.6 | △ 0.5 | 2.9 | △ 0.6 |
| II | △ 0.7 | △ 0.4 | △ 0.4 | △ 0.3 | 6.5 | | 2.3 | △ 0.3 | △ 15.4 | 10.1 | 0.9 | 2.4 | △ 0.7 |
| III | 0.2 | 0.2 | 0.1 | 0.2 | △ 17.2 | | 40.3 | △ 3.8 | △ 34.8 | 11.4 | 1.4 | 2.5 | 0.2 |
| 22年 8月 | △ 1.5 | △ 1.5 | △ 0.9 | △ 1.0 | △ 58.3 | △ | 59.2 | △ 14.2 | △ 33.5 | 1.7 | △ 0.8 | 2.2 | △ 1.7 |
| 9月 | △ 1.6 | △ 2.1 | △ 0.6 | △ 1.1 | △ 16.7 | | 104.9 | △ 4.5 | 359.2 | 2.4 | △ 0.5 | 2.4 | △ 1.3 |
| 10月 | △ 0.4 | △ 1.4 | 0.2 | △ 0.6 | △ 41.7 | | 41.1 | △ 9.9 | 79.1 | 2.1 | △ 0.7 | 2.4 | △ 1.7 |
| 11月 | △ 0.5 | △ 1.4 | 0.1 | △ 0.5 | 10.0 | | 314.0 | △ 6.2 | △ 60.5 | 2.3 | △ 0.6 | 1.9 | △ 1.9 |
| 12月 | △ 0.8 | △ 1.3 | 0.0 | △ 0.4 | △ 57.1 | | 208.7 | △ 2.9 | △ 16.6 | 2.4 | △ 0.2 | 1.6 | △ 1.9 |
| 23年 1月 | △ 0.8 | △ 1.2 | △ 0.6 | △ 0.8 | 66.7 | | 172.5 | △ 2.0 | △ 90.9 | 2.5 | △ 0.6 | 1.6 | △ 1.8 |
| 2月 | △ 1.4 | △ 2.0 | △ 0.5 | △ 0.8 | △ 55.6 | △ | 61.9 | △ 9.4 | △ 6.5 | 2.0 | △ 0.3 | 2.0 | △ 1.6 |
| 3月 | △ 1.5 | △ 1.7 | △ 0.5 | △ 0.7 | △ 47.1 | | 51.4 | △ 9.9 | △ 13.0 | 2.6 | △ 0.5 | 2.9 | △ 0.6 |
| 4月 | △ 0.6 | △ 0.2 | △ 0.4 | △ 0.2 | 20.0 | | 16.8 | △ 6.7 | 3.5 | 6.0 | △ 0.5 | 2.9 | △ 0.4 |
| 5月 | △ 0.9 | △ 0.5 | △ 0.4 | △ 0.1 | 30.0 | △ | 31.3 | 4.8 | △ 23.7 | 7.5 | 0.3 | 2.6 | △ 0.2 |
| 6月 | △ 0.6 | △ 0.6 | △ 0.4 | △ 0.2 | △ 27.3 | | 67.9 | 1.4 | △ 23.7 | 10.1 | 0.9 | 2.4 | △ 0.7 |
| 7月 | 0.3 | 0.2 | 0.2 | 0.1 | △ 42.9 | | 71.8 | 1.4 | △ 19.7 | 10.6 | 0.9 | 2.4 | △ 0.3 |
| 8月 | 0.5 | 0.2 | 0.2 | 0.2 | 60.0 | △ | 1.2 | △ 3.5 | 320.3 | 11.1 | 1.2 | 2.4 | △ 0.3 |
| 9月 | △ 0.2 | 0.0 | 0.0 | 0.2 | △ 20.0 | △ | 3.9 | △ 9.1 | △ 85.0 | 11.4 | 1.4 | 2.5 | 0.2 |
| 10月 | △ 0.4 | △ 0.3 | △ 0.2 | △ 0.1 | △ 14.3 | | 43.5 | △ 14.0 | △ 70.0 | 11.6 | 1.1 | 2.8 | 0.3 |
| 11月 | △ 0.3 | △ 0.1 | △ 0.5 | △ 0.2 | △ 63.6 | △ | 97.4 | 3.2 | △ 31.4 | 10.6 | 2.0 | 3.3 | 0.8 |
| 12月 | - | - | - | - | △ 33.3 | △ | 90.0 | △ 6.3 | 44.7 | - | - | - | - |
| 備考 | 平成22年=100 | | | | 負債総額1,000万円以上 | | | | 年・期・月末残高 県の預貸残高は銀行・第2地銀・信用金庫・信用組合の計 国の預金残高は実質預金 | | | | |
| 資料 | 「消費者物価指数」総務省統計局 | | | | 「福島県企業倒産状況」株式会社東京商工リサーチ福島支店・郡山支店 | | | | 県、国ともオプション勘定を含む。 | | | | |
| 出所 | | | | | 「全国企業倒産状況」株式会社東京商工リサーチ | | | | 「福島県金融経済概況」日本銀行福島支店 「金融経済統計月報」日本銀行 | | | | |

| 区分 | 企業・金融 | | 中小企業の業況 | | | | | | | 市場 | |
|---------|---------------|-------|---------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|---------------|-----------------|
| | 23 貸出約定平均金利 | | 24 中小企業業況判断DI | | | | | | | 25 株式 | 26 円相場 |
| 年月 | 福島県 | 全国 | 福島県 | | | | | | | 株価 | 東京市場 米ドルスポット |
| | 地元地銀・ 第二地銀 | 国内銀行 | 全産業 | 製造業 | 非製造業 | 建設業 | 卸売業 | 小売業 | サービス業 | 東証株式 (第1部) | |
| | (%) | (%) | | | | | | | | (円) | (円/米ドル) |
| 平成20年 | 2.116 | 1.865 | - | - | - | - | - | - | - | 12,150.80 | 103.39 |
| 21年 | 1.928 | 1.655 | - | - | - | - | - | - | - | 9,339.28 | 93.64 |
| 22年 | 1.778 | 1.551 | - | - | - | - | - | - | - | 10,007.50 | 87.74 |
| 22年 III | 1.798 | 1.565 | - | - | - | - | - | - | - | 9,356.02 | 85.87 |
| IV | 1.778 | 1.551 | - | - | - | - | - | - | - | 9,849.09 | 82.61 |
| 23年 I | 1.721 | 1.519 | - | - | - | - | - | - | - | 10,285.30 | 82.29 |
| II | 1.654 | 1.508 | - | - | - | - | - | - | - | 9,609.36 | 81.67 |
| III | 1.607 | 1.473 | - | - | - | - | - | - | - | 9,246.34 | 77.81 |
| 22年 8月 | 1.802 | 1.588 | - | - | - | - | - | - | - | 9,268.24 | 85.47 |
| 9月 | 1.798 | 1.565 | △ 24.1 | △ 6.0 | △ 39.7 | △ 50.0 | △ 34.7 | △ 45.6 | △ 30.3 | 9,346.72 | 84.38 |
| 10月 | 1.777 | 1.569 | - | - | - | - | - | - | - | 9,455.09 | 81.87 |
| 11月 | 1.791 | 1.566 | - | - | - | - | - | - | - | 9,797.18 | 82.48 |
| 12月 | 1.778 | 1.551 | △ 18.6 | 3.3 | △ 36.3 | △ 43.8 | △ 17.7 | △ 47.0 | △ 32.1 | 10,254.46 | 83.41 |
| 23年 1月 | 1.774 | 1.547 | - | - | - | - | - | - | - | 10,449.53 | 82.63 |
| 2月 | 1.769 | 1.539 | - | - | - | - | - | - | - | 10,622.27 | 82.53 |
| 3月 | 1.721 | 1.519 | - | - | - | - | - | - | - | 9,852.45 | 81.79 |
| 4月 | 1.697 | 1.521 | - | - | - | - | - | - | - | 9,644.63 | 83.35 |
| 5月 | 1.676 | 1.512 | - | - | - | - | - | - | - | 9,650.78 | 81.23 |
| 6月 | 1.654 | 1.508 | △ 34.6 | △ 27.8 | △ 40.4 | △ 22.5 | △ 42.3 | △ 38.4 | △ 51.5 | 9,541.53 | 80.51 |
| 7月 | 1.645 | 1.501 | - | - | - | - | - | - | - | 9,996.68 | 79.47 |
| 8月 | 1.623 | 1.496 | - | - | - | - | - | - | - | 9,072.94 | 77.22 |
| 9月 | 1.607 | 1.473 | △ 30.7 | △ 28.5 | △ 32.8 | △ 10.5 | △ 40.5 | △ 36.6 | △ 32.0 | 8,695.42 | 76.84 |
| 10月 | 1.594 | 1.474 | - | - | - | - | - | - | - | 8,733.56 | 76.77 |
| 11月 | 1.573 | 1.469 | - | - | - | - | - | - | - | 8,506.11 | 77.54 |
| 12月 | - | - | △ 19.0 | △ 24.2 | △ 14.3 | 40.6 | △ 30.4 | △ 28.2 | △ 6.9 | 8,505.99 | 77.85 |

| 対前月(期) | | | | | | | | | | | | |
|----------|---------------------------------------|---------|--|--------|-------|------|--------|-------|--------|----------------------|------------|---------|
| 平成20年 | △ 0.129 | △ 0.080 | - | - | - | - | - | - | - | - | △ 4,845.53 | △ 14.38 |
| 21年 | △ 0.188 | △ 0.210 | - | - | - | - | - | - | - | - | △ 2,811.52 | △ 9.75 |
| 22年 | △ 0.150 | △ 0.104 | - | - | - | - | - | - | - | - | 668.21 | △ 5.90 |
| 22年 III | △ 0.047 | △ 0.034 | - | - | - | - | - | - | - | - | △ 989.88 | △ 6.13 |
| IV | △ 0.020 | △ 0.014 | - | - | - | - | - | - | - | - | 493.07 | △ 3.26 |
| 23年 I | △ 0.057 | △ 0.032 | - | - | - | - | - | - | - | - | 436.21 | △ 0.32 |
| II | △ 0.067 | △ 0.011 | - | - | - | - | - | - | - | - | △ 675.94 | △ 0.62 |
| III | △ 0.047 | △ 0.035 | - | - | - | - | - | - | - | - | △ 363.02 | △ 3.85 |
| 22年 8月 | △ 0.007 | △ 0.009 | - | - | - | - | - | - | - | - | △ 188.60 | △ 2.25 |
| 9月 | △ 0.004 | △ 0.023 | △ 3.3 | △ 9.7 | 1.3 | 12.8 | 6.2 | △ 8.1 | 1.0 | 78.48 | △ 1.09 | |
| 10月 | △ 0.021 | 0.004 | - | - | - | - | - | - | - | 108.37 | △ 2.51 | |
| 11月 | 0.014 | △ 0.003 | - | - | - | - | - | - | - | 342.09 | 0.61 | |
| 12月 | △ 0.013 | △ 0.015 | 5.5 | 9.3 | 3.4 | 6.2 | 17.0 | △ 1.4 | △ 1.8 | 457.28 | 0.93 | |
| 23年 1月 | △ 0.004 | △ 0.004 | - | - | - | - | - | - | - | 195.07 | △ 0.78 | |
| 2月 | △ 0.005 | △ 0.008 | - | - | - | - | - | - | - | 172.74 | △ 0.10 | |
| 3月 | △ 0.048 | △ 0.020 | - | - | - | - | - | - | - | △ 769.82 | △ 0.74 | |
| 4月 | △ 0.024 | 0.002 | - | - | - | - | - | - | - | △ 207.82 | 1.56 | |
| 5月 | △ 0.021 | △ 0.009 | - | - | - | - | - | - | - | 6.15 | △ 2.12 | |
| 6月 | △ 0.022 | △ 0.004 | △ 16.0 | △ 31.1 | △ 4.1 | 21.3 | △ 24.6 | 8.6 | △ 19.4 | △ 109.25 | △ 0.72 | |
| 7月 | △ 0.009 | △ 0.007 | - | - | - | - | - | - | - | 455.15 | △ 1.04 | |
| 8月 | △ 0.022 | △ 0.005 | - | - | - | - | - | - | - | △ 923.74 | △ 2.25 | |
| 9月 | △ 0.016 | △ 0.023 | 3.9 | △ 0.7 | 7.6 | 12.0 | 1.8 | 1.8 | 19.5 | △ 377.52 | △ 0.38 | |
| 10月 | △ 0.013 | 0.001 | - | - | - | - | - | - | - | 38.14 | △ 0.07 | |
| 11月 | △ 0.021 | △ 0.005 | - | - | - | - | - | - | - | △ 227.45 | 0.77 | |
| 12月 | - | - | 11.7 | 4.3 | 18.5 | 51.1 | 10.1 | 8.4 | 25.1 | △ 0.12 | 0.31 | |
| 備考 | (総合) 年・月末残ベース | | 前年同期(月)と比較して、業況が「良化」と回答した企業の割合から「悪化」と回答した企業の割合を減じた数値 (四半期月末時点) | | | | | | | 日経平均(25種) (期中平均値) | (期中平均値) | |
| 資料 出所 | 「福島県金融経済概況」日本銀行福島支店 「金融経済統計月報」日本銀行 | | 公益財団法人福島県産業振興センター | | | | | | | 日本経済新聞社 | 日本経済新聞社 | |

(参考) 1 中小企業景気動向調査(1月調査12月末時点)―自由意見より―

(公財)福島県産業振興センター

製 造 業

- 関東地区での売上がダウン。かなりの風評被害である。
【食料品】
- 原材料の県産品が使用出来なくなった。
【食料品】
- 得意先の減少。(避難したり、亡くなったり)
【食料品】
- ギフトに関しては風評被害で減少。(他県に贈れない)
【食料品】
- ストレスで従業員の健康状況が悪化。(検診の結果)
【食料品】
- 風評被害で売上減少。
【食料品】
- 原発事故の風評被害が徐々にひろがっている感じがする。
【食料品】
- 従業員を募集しても全く応募がない。
【食料品】
- 震災及び放射能被害の影響により、受注激減。12月いっぱい営業するが、来年からは当分の間休業予定。
【食料品】
- 風評被害が今後についても予測不能。かなりの実害あり。
【酒造】
- 一部風評被害による、受注減少、及び検査費用の負担増。県検査体制の整備、拡充が望まれる。
【酒造】
- 震災後は、取引先が応援のため販売に注力頂いたが、今後風評被害の恐れや風化が進み、次年は厳しい環境が予測される。
【酒造】
- シルクに関する繊維の市況は、これまでで最もひどい状況である。
【織物】
- 世の中全体の景気低迷により販売が低調のため、メーカーからの受注も少なく、来年の稼働も少ない見込み。
【織物】
- 原発事故による風評被害によって個人客(県外)の売上は大きく減少している。
【木材・木製品】
- 2月からの春物受注については好調である。
【木材・木製品】
- 原発事故による放射能汚染の影響が思いがけないところにあらわれ、事業が(特に受注面で)低迷している。
【木材・木製品】
- 災害復興予算が回り出せば、好転していくかも知れない。
【印刷】
- いわき地区では年明け以降、震災復旧工事が始まるため、今後急激な需要が生まれてくることが想定される。しかし、業界がこれまでの公共事業等の工事量の大幅な減少に対応すべく、大規模な合理化を行ってきた為、急激な需要増による車輛、材料の確保が大変難しい状況で、対応に苦慮している。
【窯業・土石】
- 震災により2~3ヶ月停滞したが、復興工事及び進行中の工事が重なれば、需要増が見込まれる。
【窯業・土石】
- 海外生産移転による受注減により、先行き不安がある。
【金属】
- EU不況、タイ水害、円高、風評被害など、不安要素がた

- くさん有る。今は良いが、先行きは暗い。
【金属】
- 当いわき地区は、原発事故の収束に対する不安が大きく、経済と産業に重圧をかけている。将来が不安である。
【金属】
- タイの洪水の関係で、お客様が被災し、納入停止が3ヶ月間続きます。当社の売上の約1/3に当たります。
【金属】
- 海外に仕事が流れて空洞化が進んでいる。
【一般機械】
- 超円高により発注先(親企業)よりのコスト削減要請、及びEU、アメリカの経済動向と中国の関連により、先行きが非常に不透明です。
【一般機械】
- 円高の影響が出始めている。1ドル=80円にはなっていない。
【一般機械】
- 2月迄仕事が入っていますが先行き不透明。
【一般機械】
- 先行不透明感が続いております。
【電気機器】
- 今年は震災と原発事故とでまったく異常な時で、県内はいったいどうなってしまうのだろうと不安がつきまとった年でした。年明けからのマインドの変化を注視して行きたいです。
【電気機器】
- 客先の海外生産移転による受注減が懸念される。
【輸送用機器】
- 欧州債務問題、中国を中心としたアジアの景気のスローダウン、円高と不安材料が多く、先がなかなか見通せない。
【輸送用機器】
- 欧州情勢が不安なことと円高が影響し、業況は悪化すると予想される。
【輸送用機器】
- 短納期対応のため、先の受注が読めない(受注残高が少なくなる)。安定した生産計画が組めない。
【精密機器】
- タイの水害などの特需要因が有り、現状は忙しい状態です。しかし円高なこともあり、それ以外は決して良くありません。
【輸送用機器】
- 原発事故の風評被害による顧客減少、なんとかならないものか。
【漆器】
- 昨年よりやや上向いたことは、震災支援事業による注文があった為で、今後の売上には期待出来ない。
【プラスチック】
- 家電(特にテレビ)関係の梱包材の受注が、ほとんどないような状況。海外への生産移転が加速している状態です。
【プラスチック】

建 設 業

- 近頃は復興需要が落ち着きつつあり、競争の激化が始まっている。
【建築】
- 現況は需要旺盛であり、平成24~25年度も息切れしそうにないが、その後は建設業にとって厳冬の時代になると予想される。
【建築】

卸 売 業

- 震災後営業エリアが半減。事業継続が厳しい。 【衣服】
- 米穀販売が主力のため原発事故の放射能による風評被害に直面し、対応に苦慮している。実績にも多大な悪影響を及ぼしている。 【飲食料】
- 震災による閉店の企業があり、売上が10%ダウンしている。他既存店が伸びて来ているが、昨対100%にとどかない。 【飲食料】
- 当社、震災にて宮城、岩手地区の取引先が90%激減。関東地区取引先も風評被害にて売上減。 【飲食料】
- 原発事故の為、新たな商品の生産ができない。さらには、風評被害で販売単価が下落。 【青果物】
- 今、最優先すべきは放射能対策であり、貴センターを含め、行政全体として経済活性化対策の具現化が望まれる。 【青果物】
- 放射能被害により福島観光や卸・小売業は最悪になりそう。早急な補償対策が望まれる。 【青果物】
- 震災の被害と原発事故の放射能被害で、取扱っている青果物の販売に苦労して居ります。 【青果物】
- 原発事故により水産関係は最悪です。 【鮮魚】
- 原発事故の放射能被害で地元海産物の水揚げは無く、他県商品は高くつくため顧客も減少、中央市場は大変苦慮しております。 【鮮魚】
- 震災後、2~3ヶ月間は資材の調達が円滑でなく、職人不足もあり、受注後の工期も長引き、忙しいわりには、採算はあまり良くない状況です。 【建築材料】
- 原発事故関連の復旧に伴う材料の出荷は好調です。 【建築材料】
- 放射能除染関連商品は売れているが、農業関連商品の販売は先行不透明で心配。 【その他】
- 原発30km圏内の売掛金の回収ができない。 【その他】

小 売 業

- 原発事故の風評被害でお客がほとんど来なくなり、売上が大きく減少し、頭が痛いです。 【中小スーパー】
- 震災、原発事故による精神的、経済的影響がまだまだ長く続くことと、もし消費税がこれ以上上がったなら売価に転化できず、商店の負担になってしまうことへの不安があります。 【衣料】
- 震災により被害を受けたため、地元での売上確保は今後大変です。 【衣料】
- 原発事故に津波、震災の三重苦で何とも言いようがありません。将来がとても不安です。 【飲食料】
- 原発事故による風評被害は会津にも影響が出ています。 【飲食料】
- 現在の業況で問題はない、と感じております。 【飲食料】
- 原発事故後は最悪でしたが、現在は平成22年の対月くらいまでは戻って来た様な気がします。ただし、先行き予想は不透明。 【飲食料】

- 原発事故の放射能風評被害が、不景気の最大の元です。 【飲食料】
- ギフトシーズンに入っても、風評被害で東京の上客から注文が入ってこない。 【飲食料】
- 食品（米）のみの取扱いなので、風評被害がますます拡大しています。 【飲食料】
- テレビ、冷蔵庫、エアコン等、大型品の需要が少なく、売上は減少している。 【家電品】
- 風評被害でネット販売の売上がゼロの月が続いている。先行き不安です。 【その他】
- 今後に向けて期待は大きいのですが、どうなる事か。 【その他】
- 放射能検査で未検出なのにもかかわらず、福島県産というだけで農作物が売れない。 【その他】
- 第1、2原発の運転停止、双葉地区の工場の操業停止により受注が激減した。 【その他】
- 他県からの観光客の回復はまだ遅れているが、県内や市内からの来客は多い様です。 【その他】
- 相馬市~新地町の営業は、約50%の悪化。南相馬市~浪江町の営業は、約99%の悪化。来年度の売上回復見込みは、期待出来ず。 【その他】
- 市内の人口増は小売・飲食にも大きくプラスになっている。あと1~2年はこの状況が続くとは思う。 【その他】

サービス業

- 原発事故の風評被害が福島県全体の景気低迷の元である。一刻も早い収束が望まれる。 【タクシー】
- 原油値上がりのため、燃料費が下がらない。 【運送】
- 原発事故発生以来、風評被害による影響で県産米の出荷が大幅に減少し、また燃料価格も高止まりで推移している為、経営にあたえる影響は大きい。 【運送】
- 先行き不透明。 【自動車整備】
- 今後従業員が減少傾向になると思われます。 【自動車整備】
- 3ヶ月先の予測がつきません。今年は6月から半年間大変忙しい年でした。 【自動車整備】
- とにかく、働く人が見つからない。 【情報サービス】
- お店のお客様はだんだん少なくなるばかりです。外での仕事（婚礼及び出張撮影等）がある為、少しは良いと思う。H24年1月、2月は苦しいと思います。 【その他】

食品製造業

(1) 豆腐油揚:

1. 加工食品である豆腐類に関しては、放射能の影響がまだ未知数であり消費者の購買動向に注目している。

2. 大豆は地産地消が崩壊し、放射能汚染の影響のない地域産のものが需要増となっており、価格も偏り(県産は安く、他地域産は高い)が見られる。

(2) 味噌醤油:

1. 原料の大豆、米、小麦は県産品を使用したくないとする組合員が今でも増加しており、現場では放射能汚染による風評被害が継続している。原料中に含まれる放射性物質が不検出であっても県外産原料への変更を希望するところが増えている。

2. 福島県製造と表示されているだけで嫌う消費者が多い中で、今後も生産・出荷販売に影響が続くと予想され、市場動向に不安を感じている。

繊維・同製品

(3) ニット:

秋冬ものの販売は好調であったが、ニット製品の受注が少なくなる春物については心配である。イベントについては「早く良い製品を買いたい」というお客様が増え、3日間開催しても初日に来客が集中して2日目、3日目は来客が少なくなる傾向が感じられます。お客様の購買単価は上がっています。

木材・木製品製造業

(4) 製材業:

丸太の価格は依然高止まりの状態となっているが、製品は主力市場である首都圏からの引き合いが鈍いために値下げを強いられ、木材産業としては厳しい経営を強いられている。そのような中、震災で先送りされていた新築需要が顕在化し、地場需要が台頭してきたことで県内各地に明るさが見られてきた。

(5) 外材輸入:

新設住宅着工数は4ヵ月連続で前年同月比減の状況で、更に円高による先安感が蔓延していることもあり、製品市況については量、価格共低調に推移している。

紙・紙加工品製造業

(6) 紙器・段ボール箱:

紙器段ボール箱業界(パルプ・紙・紙加工品製造業)がセーフティネット保証5号の業況が悪化している業種として引き続き指定となった。指定期間は平成23年10月1日から平成24年3月31日まで。

印刷

(7) 印刷:

例年あった仕事の約20%が減少している様です。原発事故による人口減少や浜通りの

被災、取引先が受けている風評被害等が影響している様です。

窯業・土石製品製造業

(8) 陶磁器:

冬期に入りお客様が減少しています。毎年同じような状況です。

(9) 砕石(県北地区):

1. 前月比では、売上高は約17%の増
2. 前年同月比では、売上高は約23%の増
3. 全数量の前年同月比では、売上高は約18%の増

4. 大震災の復旧工事関連への納入が増加の原因である。

(10) 生コン:

平成23年12月の組合員生コン出荷数量は、126,597 m³と前年同月比で17.3%増加した。東日本大震災の影響を受け、破損道路及び建物の補修工事の増加が主たる要因。出荷数量の内訳は、官公需が前年同月比23.3%の増、民需は19.7%の増とどちらも増加した。

■民需の増加した地区

<県中地区> 109.6%の増

食品スーパー三春店新築工事、病院新築工事、葉タバコ倉庫補修工事、会社新築工事、信金本店新築工事等

<白河地区> 73.5%の増

老人ホーム増築工事、工場新築工事等

<いわき地区> 30.5%の増

火力発電所増設工事、精錬所増設工事等

■官公需の増加した地区

<県中地区> 1.4%の増

河川災害復旧工事、道路災害復旧工事等

<白河地区> 17.1%の増

トンネル復旧工事、道路災害復旧工事、鉄道関係復旧工事、中学校体育館新築工事、公営住宅団地建設工事等

<相双地区> 118.7%の増

海岸保全施設整備工事、橋梁復旧工事等

<会津地区> 80.9%の増

道路・橋梁復旧工事、医療センター新築工事等

鉄鋼・金属・一般機械製造業

(11) 各種プラント機器:

当組合のプラント設備関連業界は、依然として見積引合とも横ばいから減少傾向で推移している。従って今月も売上高・収益状況ともに前月と比較して減少しており、引き続きさらに厳しい状況にある。

(12) 電子工業:

タイ洪水被害の影響で、断片的に生産調整があるも11月度より大幅に改善された。但し、影響が完全に消えるまでは、まだ時間がかかる見通し。

(13) 卸売業(県中地区):

年末商戦によって消費材卸については、一時的に売上が伸びたが、例年程ではなかった。

卸売業

一方、生産材卸に関しては、復興需要も手伝って小幅ながらも売上を伸ばしている。

(14) 再生資源：

どうか12月を乗り切って新しい年を迎えましたが、業界の状況は沈みきっています。どうか生き延びようと、ひたすら我慢し、頑張っております。従業員に対しても年末は公務員にはほど遠い微々たる手当での支給が精一杯でした。行政には福島から放射能を除去して、新しい施策を実施して下さることを切に望みます。業界の状況は少しも好転しておりません。

(15) 青果物卸売業：

例年12月は年末需要のため取扱高は増加する。但し、他県の市場と比較した場合、県産青果物が風評被害で苦戦を強いられている分良くない。年末の取引は増加傾向にあったが、生活スタイルの変化から伸び悩んでいる。今では量販店は年末年始も営業する所が多いため、青果店でも青果物のロスを減らすためにも買い控えをしている。取引単価は前年よりも安い品物はより安く、高い品物はより高くなり品物による幅が目立った。平成24年は今年よりも取扱が増加することを期待したい。

小売業

(16) 共同店舗（浜通り地区のOショッピングセンター）：

売上高（前年同月比 5.2%の増）、客数（前年同月比 8.6%の増）とも前年を上回った。館内店舗の65%以上が前年同月の売上を上回った。特に食料品販売と飲食店が好調に推移している。増加要因は客数の増加が挙げられる。

(17) 共同店舗（県中地区のNショッピングセンター）：

年末商戦は何とか乗り切ることができたが、年明け後の消費の冷え込みがどこまであるかが懸念される。

(18) 石油：

12月に入り、原油価格並びに為替が、一応の落ち着きがあり元売各社の仕切価格も、横ばいまたは一部で若干の値下げとなった。しかしながら、通常見込まれるはずの年末年始大型連休の需要は高速道路無料によるお客様の流出の影響により、減少しており改善の兆しが見えない状況にある。

(19) 水産物：

12月及び年末の売上げが不安だったが、前年を多少だが上回った組合員が多かった。

(20) 米穀：

業界全体の景況は悪い。放射能汚染による風評被害の影響は相変わらず、市況に強く反映している。販売条件は厳しくなっており経営は一段と苦しくなっている。

(21) 電機：

12月は合同展示会、個店展示会においても全体的に低調であった。販売額では液晶テレビが低調。冷蔵庫、掃除機、炊飯器等は若干上昇している。24年3月31日に被災3県（福島・宮城・岩手）がアナログ停波になるため、最後の追込みに期待している。販売店の一部であるが太陽光発電、省エネ製品に力を入れてきている。組合員全体

みが望まれる。

商店街

(22) 商店街（福島市）：

12月はボーナス月だが郊外店に客足が向いたのか、思ったほど人手がなかった。

(23) 商店街（郡山市）：

12月は百貨店の物産展や5倍ポイントセールなどが好調で、前年を上回ることが出来ました。震災後、初めて行われた郡山産野菜の販売PRを行う「あぐり市」は、強風・厳寒の天気でしたが、好評のうち無事終了いたしました。農産物に対する風評被害はますます厳しくなりますが、商店街としてその克服に少しでも貢献できればと思います。

(24) 商店街（南相馬市）：

八方塞がりの状況の中、国の平成23年度地域商業活性化支援事業（被災地支援事業）に申込みをしていたところ、12月に採択となり1月より取り組むことになりました。一店逸品スタンプラリーを中心に3月まで色々なイベントを組み合わせ商店街の活性化に結びつけていく計画です。この事業を契機に賑わい創出と販売促進につなげ、原発事故でダメージを受けた商店街をなんとか蘇らせたいと考えています。

(25) 商店街（会津若松市）：

12月はクリスマスの賑わいは少なかったが、各店の冬物セールが始まり動きがあった。

(26) 商店街（いわき市）：

12月中旬から寒くなり冬物衣料、服飾雑貨等の動きが良くなり生活関連でも冬支度商品が売れていた。飲食店は忘年会需要で忙しく、週末に限らず夜の人出は多かったようだ。久々に活気のある12月だったが、それでも全業種というわけにはいかなかった。

サービス業

(27) 旅館業（湯本温泉）：

いわきは原発復興の作業員が宿泊していましたが、宿泊人数も徐々に減少しています。まだまだ一般客が少なく、風評被害が大きく作用し観光客はほとんど来ない状況です。

(28) 旅館業（土湯温泉）：

原発事故の賠償や県のふくしまっ子体験活動応援事業の受け入れにより、なんとか営業が継続できている状態です。

(29) 理容業：

年末の忙しさが来ないまま平成23年が終わった。震災の影響でしかたないと思うがもう少し忙しくなると思った。放射能汚染が取り沙汰されている県北地方では小さな子供がいる家族は避難し、町を離れた者も多い。理容店は固定客が大半の営業形態なので環境の変化や景況はそのまま商売に反映される。全体的に暗いムードが漂う今の状況を明るくするような話題が欲しい。国にも福島県を元気にする施策をどんどん打ち出して欲しい。消費者に最も身近な業種であるが命に係わるものではないから我慢が効く。さっぱりした気持ちで新年を迎えるという風習も平穏な生活が出来ていればこそなのだろう。

(30) 廃棄物収集運搬業：

浜通り地区で一時的にあった災害関連事業

もほぼ終わり、当業界も新たな局面に来ていると思います。今後、一次産業の再開等の要因で仕事も大きく変化すると考えますが、放射能汚染の関係で先行きは不透明です。リサイクル事業についても福島県発の廃棄物は取り扱いを嫌がられることもあり、大変厳しい状況にあります。

(31) 旅行業：

今月は通常はオフ時期であるが9月末で終了予定だった「ふくしまっ子体験活動応援事業」が3月まで延長されたため売上が伸びた。この事業は業界の活性化につながっている。原発事故に伴う風評被害を抱えている県内旅行の平成24年の見通しほどこまで回復できるか不透明であるが、県外および海外旅行については5月には東京スカイツリーの開業、7月にはロンドンオリンピックの開催、日中国交正常化40年等、活気づく催しを実施されるため、前向きに取り組んでいきたい。

建設業

(32) 建設業（県一円）：

相変わらず、技術者と労務者が不足しており、公共工事が発注されているが、仕事を取

りたくても出来ない状況にある。これからの年度内工期の仕事は特に厳しい状況にある。

(33) 建設業（県南地区）：

震災復旧工事の入札において不調となるケースが増えている。作業員不足、下請業者不足が主な原因だが、県外業者に依頼できない理由として、労務費単価等が関東地区に比べてかなり安いことがあげられる。また、資材不足や運搬ダンプ不足が見うけられる。

(34) 管工事：

給水・排水設備申請とも、前月比及び前年度累計対比で減少している。

(35) 専門工事：

業界の景況については土木業、建設業の収益は増加しているとの事ですが、専門工事（建具工事など）については大変厳しい状況である。

運輸業

(36) ハイヤータクシー：

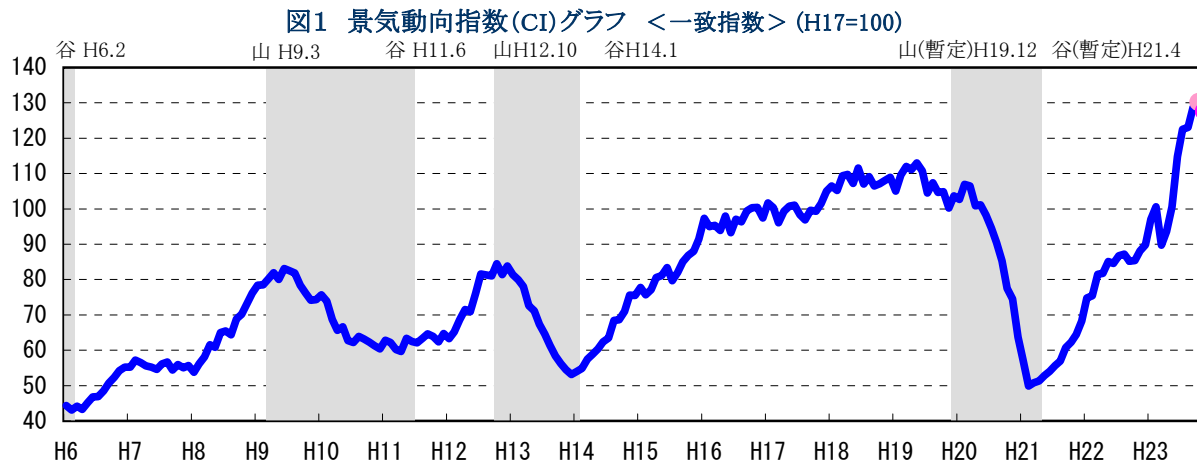
前月比増とはなるが、微増であり、増加との実感はない。

3 景気動向指数(福島県)

概 括

11月の景気動向指数(CI:コンポジット・インデックス)は、先行指数130.1ポイント、一致指数127.6ポイント、遅行指数109.1ポイントとなった。

- 先行指数は、前月(131.0ポイント)を0.9ポイント下回り、2か月振りの下降となった。
- 一致指数は、前月(130.2ポイント)を2.6ポイント下回り、8か月振りの下降となった。
- 遅行指数は、前月(107.0ポイント)を2.1ポイント上回り、2か月振りの上昇となった。



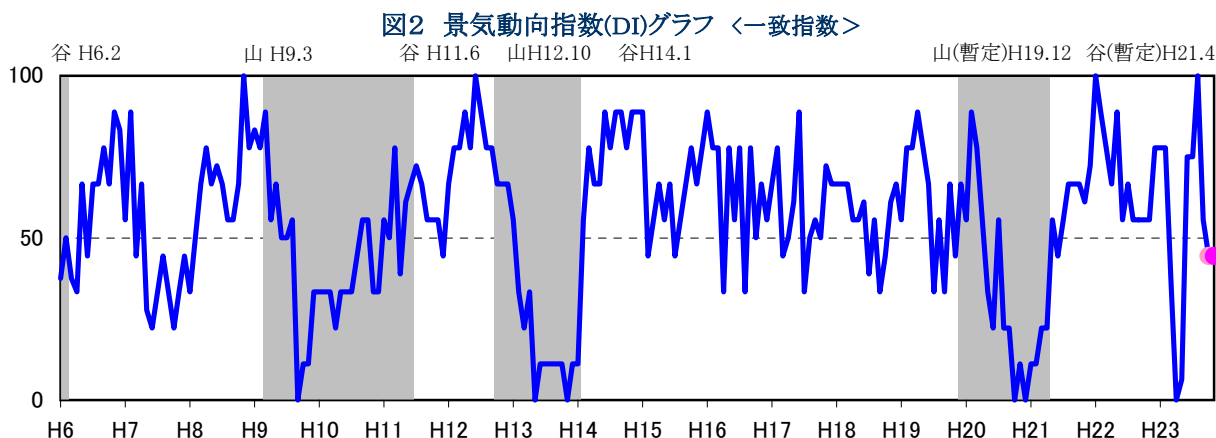
※CI(Composite indexes)：景気変動の勢いや大きさといった、景気の強弱を定量的に計測する指数であり、採用系列の変化率(前月比)を合成して作成。

※グラフ上の景気基準日付のうち、シャドウ部分は景気後退期を示している。

CI指数表

| 区 分 | 景 気 動 向 指 数 (CI指数) | | | | | |
|---------|--|--------------|--------------|-----------------------|-------------|-------------|
| | 福島県(平成24年1月23日公表) | | | 全 国(平成24年1月11日公表(速報)) | | |
| | 先行指数 | 一致指数 | 遅行指数 | 先行指数 | 一致指数 | 遅行指数 |
| H23年5月 | 105.7 | 100.6 | 99.9 | 91.5 | 88.4 | 84.1 |
| 6月 | 117.7 | 114.8 | 104.5 | 93.3 | 90.7 | 84.1 |
| 7月 | 131.9 | 122.5 | 105.5 | 94.9 | 90.8 | 83.5 |
| 8月 | 130.7 | 123.1 | 106.5 | 94.2 | 91.0 | 84.2 |
| 9月 | 128.5 | 128.8 | 108.3 | 92.3 | 90.1 | 85.7 |
| 10月 | 131.0 | 130.2 | 107.0 | 92.0 | 91.4 | 82.7 |
| 11月 | 130.1 | 127.6 | 109.1 | 92.9 | 90.3 | 82.8 |
| 採用指標数 | 8指標 | 9指標 | 7指標 | 11指標 | 11指標 | 6指標 |
| 資 料 出 所 | 県:統計分析課「福島県景気動向指数」 国:内閣府経済社会総合研究所「景気動向指数」 | | | | | |

※一部の計数は速報値を用いており、確報訂正により、前回発表の計数と相違する場合がある。



※DI(Diffusion Indexes)：景気局面とその転換点の把握を目的として、採用系列の変化の方向(3か月前比)を合成して指数を作成。おおむね3か月連続して50%を上回っていれば景気拡張局面、下回っていれば景気後退局面と判断される。

【景気基準日付(暫定)設定～第14景気循環の谷(暫定)～】

本県の第14景気循環の谷(暫定)を平成21年4月と暫定的に設定した。

第14景気循環(暫定)の後退期間は16か月となった。

なお、今回の設定は暫定であるため、今後変わる可能性がある。

4 「福島県金融経済概況」

平成24年1月10日 日本銀行福島支店

- 県内景気は、海外経済の減速等に伴い生産が弱含んでいるものの、震災復旧関連需要の押し上げ効果から、全体として持ち直しの動きが続いている。

(総合判断 前月据置)

すなわち、最終需要をみると、個人消費は、全体として底堅く推移している。住宅投資は、被災住宅の建替え需要から持家を中心に持ち直しの動きが続いている。公共投資は、震災復旧工事を中心に大幅に増加している。設備投資は、震災に伴う進捗の遅れや海外経済の減速等の影響から前年をやや下回る計画となっている。

鉱工業生産動向をみると、海外経済の減速やタイ洪水に起因するサプライチェーン障害の影響で弱含んでいる。

雇用・所得情勢は、雇用保険受給者数が高水準にあるなど、厳しい状況ながら、緩やかな改善の動きが続いている。

消費者物価指数(除く生鮮)は、教養娯楽や家具・家事用品の下落から、2か月連続で前年を下回った。

先行きについては、震災後の急速な復旧ペースが一段落してきているほか、海外経済の減速や円高の影響が続くものの、震災復旧関連需要などから持ち直しの動きが続くと見込まれる。

5 「月例経済報告」

平成24年1月17日 内閣府

- 景気は、東日本大震災の影響により依然として厳しい状況にあるなかで、緩やかに持ち直している。

(総合判断 前月据置)

- ・生産は、緩やかに持ち直している。輸出は、このところ弱含んでいる。
- ・企業収益は、減少している。設備投資は、下げ止まりつつあるものの、このところ弱い動きもみられる。
- ・企業の業況判断は、大企業製造業で低下しており、全体としても小幅改善となっている。先行きについても、全体として慎重な見方となっている。
- ・雇用情勢は、持ち直しの動きもみられるものの、東日本大震災の影響もあり依然として厳しい。
- ・個人消費は、おおむね横ばいとなっている。
- ・物価の動向を総合してみると、緩やかなデフレ状況にある。

先行きについては、各種の政策効果などを背景に、景気の緩やかな持ち直し傾向が続くことが期待される。ただし、欧州の政府債務危機が、金融システムに対する懸念につながっていることや金融資本市場に影響を及ぼしていること等により、海外景気が下振れし、我が国の景気が下押しされるリスクが存在する。また、電力供給の制約や原子力災害の影響、さらには、デフレの影響、雇用情勢の悪化懸念が依然残っていることにも注意が必要である。

(政策の基本的態度)

政府は、大震災からの復興に全力を尽くすとともに、欧州政府債務危機等による先行きリスクを踏まえ、景気の下振れの回避に万全を期す。また、デフレ脱却に断固として取り組み、全力を挙げて円高とデフレの悪循環を防ぐ。

このため、「円高への総合的対応策」及び平成23年度第3次補正予算を迅速に実行する。12月20日、平成23年度第4次補正予算(概算)を閣議決定した。また、12月22日、「平成24年度の経済見通しと経済財政運営の基本的態度」を閣議了解し、同月24日、平成24年度予算(概算)を閣議決定した。

政府は、日本銀行と一体となって、速やかに安定的な物価上昇を実現することを目指して取り組む。デフレ脱却に向け、日本銀行に対しては、政府との緊密な情報交換・連携の下、適切かつ果敢な金融政策運営を期待する。

6 「最近の県経済動向」総合判断

| 総合判断 | 判断の 変化方向 12月(12月27日公表) | | 判断の 変化方向 1月(1月23日公表) | |
|------|------------------------------|--|----------------------------|--|
| | 前月据置 → | 県内の景気は、厳しい状況にあるものの、生産活動や個人消費などに持ち直しの動きがみられる。 | 前月据置 → | 県内の景気は、厳しい状況にあるものの、生産活動や個人消費などに持ち直しの動きがみられる。 |



「最近の県経済動向」はホームページでも御覧いただけます。

ふくしま統計情報BOX

検索

※ 次回公表予定日は平成24年2月24日です。

■ 御利用にあたって ■

「最近の県経済動向」では、本県経済の動向の判断に資するよう、県内の経済状況をマクロ的観点から簡潔に概況を述べ、視覚的にもとらえやすくできるようグラフも併せて示しています。

採用している経済指標については、経済統計上の重要性、速報性に着目して26の指標を選んで、全国の推移状況とも比較できるようにしています。さらに、福島県景気動向指数の要点をグラフで示しています。

また、参考として県内の景況感に県民の生の声を反映させることを目的に、(公財)福島県産業振興センターの中小企業経営動向調査の中の「自由意見」(四半期公表)や福島県中小企業団体中央会が行っている「中小企業景況レポート」(月次公表)を掲載しております。さらに、日本銀行福島支店の「福島県金融経済概況」、内閣府の「月例経済報告」の中から毎月の概要を抜粋して掲載しております。

■ お願い ■

本統計表から抜粋又は新たに資料を作成して利用する場合は、『福島県 最近の県経済動向から抜粋(又は作成)』と御記入くださるようお願いいたします。

福島県企画調整部統計分析課

〒960-8670 福島市杉妻町2番16号
電話 024(521)7143 内線 (2430)
FAX 024(521)7892
E-mail toukei_bunseki@pref.fukushima.jp